



AGEphone Business 4 for Windows 10/11 操作マニュアル

Ver 1.6.3.18 2024/5/30 株式会社 ageet

ageet
ageet.com

目次

1. はじめに	4		
1.1 AGEphone Business 4とは	4		
1.2 AGEphone Business 3との比較	4		
1.3 AGEphone Business 4の主な機能	4		
広範囲の互換性	4		
通話録音機能	4		
広帯域コーデックに対応	4		
ソフトウェアエコーキャンセリング	5		
プロビジョニング機能	5		
会議機能	5		
マルチライン管理機能	5		
2. 設定順序	6		
2.1 サービスを用意する	6		
2.2 ログイン画面	6		
2.3 設定画面	7		
2.4 アカウント設定	7		
サーバ情報設定	7		
ユーザ情報設定	8		
サーバオプション設定	9		
ダイヤルオプション設定	10		
2.5 全般設定	11		
ネットワーク設定	11		
STUNサーバのリスト	11		
SIP設定	12		
メディア設定	13		
一般設定	14		
ショートカット設定	17		
2.6 アクションURL	17		
アクションURLの応用例	19		
2.7 アドレス帳設定	19		
3. ディザスタリカバリ機能	20		
3.1 機能説明	20		
3.2 DR機能有効時	20		
4. URLプロトコル連携	21		
4.1 機能説明	21		
4.2 関連付けの設定	21		
5. 操作方法	22		
5.1 各部名称	22		
		5.2 ポップアップメニュー	23
		着信時の動作	24
		通話録音	24
		拡大	24
		ツール	25
		通話用の音声デバイス	25
		5.3 メイン画面	25
		SIPサーバへの登録	25
		5.4 着信時	27
		着信に応答する	27
		留守番電話応答を行う	27
		着信を無視する	27
		5.5 発信時	28
		5.6 通話する	29
		通話を録音する	30
		5.7 発信のキャンセル	30
		5.8 通話を切断する	30
		5.9 通話を保留する	31
		5.10 通話を転送する	33
		通話を録音する	33
		通話会議を行う	33
		応答前転送を行う	34
		5.11 通話会議を行う	35
		通話を切断する（会議通話接続中）	36
		通話をミュート/ミュート解除する	36
		5.12 ピックアップ	37
		ピックアップ特番を登録する	37
		5.13 パーク保留・パーク応答	38
		パーク保留する	38
		パーク応答する	38
		パーク特番を登録する	39
		5.14 通話ラインボタン	40
		5.15 音量を調節する	43
		5.16 ショートカットボタン	43
		ショートカットを登録する	43
		ショートカットを編集する	44
		ショートカットを削除する	44
		ショートカットから発信する	44
		ショートカットからDTMFを送信する	44
		44	
		5.17 アプリケーションを最小化する	45

5.18	アプリケーションを終了する	45	8.9	検索	61
5.19	通話履歴	45		アドレス帳表示状態・発着信履歴表示 状態共通	61
	通話履歴の格納場所	46	9. その他	62	
	外部アプリ例-SQLite Database Browser	46	9.1	制限事項	62
6. アドレス帳		47	9.2	AGEphone Business 4の利用停止方法	62
6.1	各部名称	47	9.3	QoS設定	63
7. アドレス帳 (ローカル)		48	10. お問い合わせ先	66	
7.1	メニューバー	48			
	【アドレス帳表示状態】	48			
	【履歴表示状態】	48			
7.2	ツールバー	49			
	アドレス帳表示状態	49			
	発着信履歴表示状態	49			
7.3	アドレス帳の追加	50			
7.4	アドレス帳の編集	50			
7.5	アドレス帳のエクスポート	50			
7.6	アドレス帳のインポート	51			
7.7	フィルター表示	51			
	発着信履歴表示状態	52			
7.8	表示データのソート	52			
	アドレス帳表示状態	52			
	発着信履歴表示状態	52			
7.9	検索	53			
	アドレス帳表示状態・発着信履歴表示 状態共通	53			
7.10	データ復旧方法	54			
8. アドレス帳 (+電話帳)		55			
8.1	+電話帳について	55			
8.2	ログイン操作	55			
8.3	メニューバー	55			
	【アドレス帳表示状態】	55			
	【履歴表示状態】	56			
8.4	ツールバー	57			
	アドレス帳表示状態	57			
	発着信履歴表示状態	57			
8.5	連絡先の追加	59			
8.6	連絡先の編集	59			
8.7	フィルター表示	60			
	アドレス帳表示状態	60			
	発着信履歴表示状態	60			
8.8	表示データのソート	60			
	アドレス帳表示状態	60			
	発着信履歴表示状態	61			

1. はじめに

1.1 AGEphone Business 4とは

AGEphone Businessはビジネス用途としてIP電話をソフトウェアで実現したソフトフォン（IP電話ソフトウェア）です。ビジネスシーンで利用されるユーザーのために開発されたAGEphone Business 4を利用することで、お持ちの内線電話が利用可能になります。

1.2 AGEphone Business 3との比較

機能	AGEphone Business 3	AGEphone Business 4
スキン	ダークのみ	ライト、ダーク
ラインボタン	無し	有り
アクションボタン	無し	有り
プロビジョニング	無し	有り
ログイン画面	無し	有り
シリアル番号入力画面	有り	無し
設定のインポートとエクスポート	有り	無し
通話中の着信	無し	有り
会議	無し	有り

1.3 AGEphone Business 4の主な機能

広範囲の互換性

多彩なパラメータチューニングによる広範囲の互換性があります。アカウントごとに異なる設定を指定可能で、セキュリティを強化するために、TLSトランスポートにも対応しています。

通話録音機能

通話ごとに通話の内容を録音することができます。録音されたファイルはPCのストレージに保存されます。1分間通話した場合おおよそ1.8MBのストレージ容量を消費します。

広帯域コーデックに対応

通常の固定電話で用いられる8KHz帯の音声コーデックはもちろんのこと、次世代の広帯域コーデック（16KHz帯）の音声コーデックを複数搭載（Speex 16000/SILK 16000/G722等）しています。

ソフトウェアエコーキャンセリング

ソフトウェアによるエコーキャンセリングの有効無効を設定できます。エコーキャンセリングとは、スピーカーから出力された音声、そのままマイクの入力に回りこんで通話相手にエコー（やまびこ）のように聞こえることを防ぐ機能です。

プロビジョニング機能

クラウドでの一元管理を実現するプロビジョニング機能を有しますので、ユーザー側で複雑な設定を行う必要がありません。クラウドでの一元管理により、設定を各端末で行う必要性はありませんので管理者側の運用も簡略化されます。

ユーザーが入力するのはテナント、ログインユーザーID、ログインパスワードの3項目のみでログインが完了します。

会議機能

複数の通話を会議にまとめる会議機能が搭載されています。音声をローカルでミキシングし、ご利用のSIPサーバに依存しませんのでどなたでもご利用いただけます。アクションボタンにて簡単に会議の開始が可能で最大5通話を一つの会議にまとめることが可能です。

マルチライン管理機能

複数の通話を簡単に制御できるマルチライン管理機能が搭載されています。クリック操作によるライン切り替えをはじめとし、マウスの右クリックにてその通話ステータスに応じて利用可能なメニューがコンテキストメニューに表示されるのでスムーズに操作が行えます。

IP電話の発着信	保留機能
転送機能	DTMF送出
通話録音機能	発着信履歴機能
クイック設定機能	+ 電話帳連携
会議通話機能	アクションURL
Web Socket連携	SRTP対応
プロビジョニング機能	ディザスタリカバリ機能

2. 設定順序

2.1 サービスを用意する

通話を行うにはIP電話サービスが必要です。サービス契約後、提供されたテナントID、ログインIDおよびパスワードをAGEphone Business 4へ設定します。

2.2 ログイン画面

ログイン

テナントID example

ログインID ageet

パスワード ●●●●●●

ログイン

※ログインすると、プロフィールが読み込まれます。プロビジョニングデータが変更された場合、再度ログインしていただくことでプロフィールを再読み込みします。

ログアウト

※ログアウトすると、プロビジョニングされたデータが消去され、発着信、通話はできなくなります。

サービスコードを削除

ログイン状態

ログイン済み

閉じる

弊社又は販売代理店から案内されたテナントID、ログインIDおよびパスワードを入力し「ログインをクリックします。

テナントID IP電話サービス提供元から案内されたテナントIDを入力します。

ログインID IP電話サービス提供元から案内されたログインIDを入力します。

パスワード IP電話サービス提供元から案内されたパスワードを入力します。

ログイン ログイン操作や再ログイン操作が必要な時にクリックします。

ログアウト ログアウト操作が必要な時にクリックします。この操作を行うと、プロビジョニングされたデータが消去され、発着信・通話は行えなくなりますのでご注意ください。

サービスコードを削除 適用中のサービスコードを削除します。

閉じる ログイン画面を閉じます。

ログインに成功するとログイン状態が下記となります。

ログイン済み

ログイン中はログイン状態が下記となります。

ログイン中です。しばらくお待ち下さい。

ログインに失敗するとエラー内容が表示されたうえで、ログイン状態が下記となります。

未ログイン

2.3 設定画面

AGEphone Business 4のメニューバーの（設定ボタン）をクリックすることで設定画面が開きます。設定画面は待機中にのみ開くことができます。設定画面を開いている場合は、着信を受けることはできませんのでご注意ください。

AGEphone Business 4では、ログイン完了後にプロビジョニングデータが取得されるため、基本的に設定を変更していただく必要はございませんが、もし何かしらの理由で変更が必要となる場合にのみ行ってください。

2.4 アカウント設定



アカウント設定

ログイン

アカウント一覧

1034@192.168.2.10

サーバ情報

SIPドメイン 192.168.2.10

SIP Proxy

SIPレジストラ

バックアップのサーバ

ユーザ情報

ユーザID 1034

表示名

認証ID 1034

パスワード

サーバオプション

レジスター間隔 300

セッション間隔 300

キープアライブ間隔 15

ページング ICE設定

接続種別 UDP

保留の種類 RFC 3264

プライバシー Not Used

Contact値の置換 LOCAL

Contact値を難読化

ダイヤルオプション

外線と判断する桁数 None

付加する番号

新規 削除 規定 全般設定 アドレス帳 OK キャンセル

サーバ情報設定

SIPドメイン	192.128.456.789
SIP Proxy	192.128.456.789
SIPレジストラ	192.128.456.789
	バックアップのサーバ

SIPドメインおよび**SIP Proxy**入力項目には、SIPサーバのアドレスを指定します。IPアドレスを直接入力することもできます。

SIPレジストラはサービス事業者から指定を受けていない場合は、SIPドメインと同じアドレスになります。

バックアップのサーバをクリックすると、バックアップサーバ入力欄が表示されます。入力項目には、サーバ情報設定欄と同様にSIPサーバのアドレスを指定します。IPアドレスを直接入力することもできます。

ユーザ情報設定

ご利用のサービス業者によって、提供されるアカウント情報の記述が多種多様であるため、ここでは特定のサービスを取り上げた形での記述はしていませんが、ご参考までに記述例を以下に記載します。
 ※なお、原則これらの設定はログイン時にプロビジョニングデータにより自動入力されます。何かしらの理由でサーバ情報を変更する必要がある時以外は変更していただく必要はございません。

AGEphone Business 4	他社記述例
ユーザID	VoIP電話番号 DID 電話番号
表示名	同上
認証ID	VoIPユーザID ユーザ名
パスワード	VoIPユーザパスワード 認証パスワード

ユーザIDは社内内で利用している内線番号を入力します。また、050番号を使った発着信を行いたい場合は、050ではじまる番号を入力します。（この時'-'/ハイフンは省略してください）050番号を使わない場合は任意の文字列を入力出来ます。

表示名は省略可能ですが、通常はユーザIDと同じ番号を入力します。

認証IDとは、SIPアドレス内に含まれているユーザIDとは別に、サーバを利用するために認証を行うときのIDになります。希にサービス事業者により、ユーザIDと認証IDが同じ時もあります。省略する事も可能です。

パスワードは通常認証IDと対（ペア）になっています。

サーバオプション設定

レジスター間隔	<input type="text" value="300"/>	接続種別	UDP
セッション間隔	<input type="text" value="300"/>	保留の種類	RFC 3264
キープアライブ間隔	<input type="text" value="15"/>	プライバシー	Not Used
<input type="checkbox"/> ページング	<input type="button" value="ICE設定"/>	Contact値の置換	LOCAL
		<input type="checkbox"/> コンタクト値を難読化	

レジスター間隔および**セッション間隔**は通常、規定値で問題ありませんが、ご利用中のサービス業者様より指定の値が存在する場合はその内容を反映させていただきます。

ページングは、有効にする事で、着信時のパケットの中のCallInfoヘッダーにanswer-after=0が含まれる着信が届いた場合に自動応答（通話開始）します。

キープアライブ間隔は、STUNを使いNAT越えを行う設定が有効な時に、ここで設定したKeep-Alive パケットの送出間隔でSTUNサーバにキープアライブを送出します。

保留形式はRFC2543（旧形式）、RFC 3264、Streamingの中から設定が行えます。利用中のサービスが旧式の保留シーケンスを利用している場合はここでRFC2543（旧形式）を選択してください。

接続種別は通常、規定値のUDPで問題ありませんがご利用中のサービスがTCPやTLS接続を利用している場合はそれらを選択してください。
TLS接続を指定した場合は、証明書を設定するための「TLS接続」ボタンがアカウント設定画面下部に表示されます。

<input type="button" value="全般設定"/>	<input type="button" value="アドレス帳"/>	<input type="button" value="TLS設定"/>
-------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------

TLS設定画面で該当する項目のチェックを有効にし、各ファイルパス、秘密鍵のパスワードを入力してください。

TLS設定

クライアント証明書を確認する

サーバ証明書を確認する

クライアント証明書を要求

Contact/Routeヘッダーのチェック

証明書ファイル

秘密鍵ファイル

秘密鍵のパスワード

CAファイル

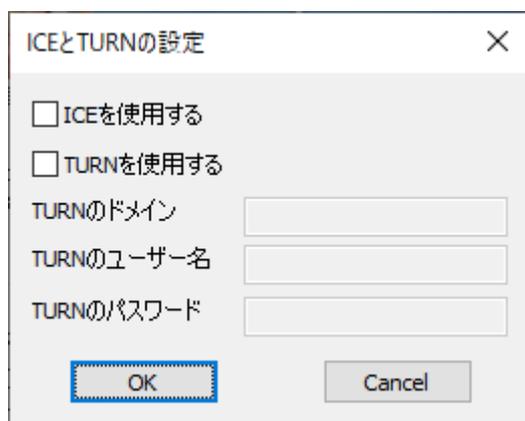
プライバシーの種類は、使わない（Not Used）、None、IDの中から選択が行えます。これはご

利用中のサーバがプライバシー機能に対応している場合、有効にする事によって非通知発信が可能になる機能です。

Contact値の置換 この機能を有効にすると、サーバーの応答がパケットが別のアドレスから受信されたことを示している場合、SIPContact-HeaderとSDP本体のIPアドレスが置き換えられます。

コンタクト値を難読化（匿名性を高める）を有効にするとSIPパケットのcontactヘッダフィールドに用いるユーザインフォ部をランダムな文字列に置き換えます。

ICE設定をクリックすると、ICEとTURNの設定を表示します。



ICEとTURNの設定

ICEを使用する

TURNを使用する

TURNのドメイン

TURNのユーザー名

TURNのパスワード

OK Cancel

ICEを使用する...オンにすることでICEを使用します。

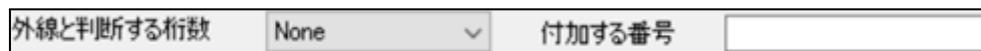
TURNを使用する...オンにすることでTURNを使用します。

TURNのドメイン...TURNを使用する設定になっている場合、ドメインを入力します。

TURNのユーザー名...TURNを使用する設定になっている場合、ユーザー名を入力します。

TURNのパスワード...TURNを使用する設定になっている場合、パスワードを入力します。

ダイヤルオプション設定



外線と判断する桁数 付加する番号

外線と判断する桁数でNone以外を設定すると、設定した桁数以上の番号に発信した場合は外線発信とみなします。

付加する番号は外線と判断する桁数の条件を満たした場合、ここで指定した任意の番号を発信番号の先頭に付与（プレフィックス）して発信を行います。

2.5 全般設定

ここでの設定は、すべてのアカウントでの共通の設定になります。

全般設定

ネットワーク
待ち受けSIPポート 15060
メディア開始ポート 4000
STUN サーバアドレス STUNを使いNAT越えを行う
ネットワークプロトコル IPv4
 WebSocketでWEBと連携する 他のPCからのWebSocket接続を許可する
WebSocket PIN

メディア
録音保存先 C:\Users\yumi\OneDrive - ageet\ フォルダ選択
着信音デバイス スピーカー (VoIPVoice USB Phone)
音声出力デバイス Default Playback Device
音声入力デバイス Default Capture Device
USB/ハンドセット
最大ジッタバッファ 3000 無音圧縮(VAD)
パケット長 (ptime) Default エコーキャンセル
DTMF種別 Rfc2833 通話録音自動開始
メディア暗号化 (SRTP) 必須 Oge形式で録音する
Opusのペイロードタイプ 98 Stereoで録音する

コーデック優先順位
有効 opus
無効 g722, g729, esm, pcma, pcmu, speex/16000, speex/8000
SRTP設定

SIP
 NAT越えのためのシメトリック応答ルーティングを有効にする
 静的ペイロードタイプをRTPMAPに記載する
 REPLACE付転送を使う
 応答前転送のBYEをsipfragの100 TRYINGの直後に送信する
着信時の動作 何もしない タイムアウト(秒) 30
 アプリ起動時にREGISTERの前にUNREGISTERを送信する

一般
同時通話の数 2 着信時にポップアップを表示する
 最後のラインを転送専用にする アイドル時にアイドル音を再生する
 通話中の着信を拒否する ×ボタンでアプリを完全に終了する

保留音 hold_music.wav 再生 ファイル選択
保留継続音 hold_reminder_jp.wav 再生 ファイル選択
アイドル音 idle_music.wav 再生 ファイル選択
内線着信音 ringtone.wav 再生 ファイル選択
外線着信音 ringtone_bell.wav 再生 ファイル選択
パークプラグイン SAXA パーク特番
0 秒経過後に保留継続音を鳴らす 着信鳴り分け

ショートカット
切断 Shift + Esc 発信/応答 Shift + Enter
 着信時にフォーカス取得する

アクションURL 関連付けの設定 OK キャンセル

ネットワーク設定

待ち受けSIPポート 15060
メディア開始ポート 4000
STUN サーバアドレス STUNを使いNAT越えを行う
ネットワークプロトコル IPv4
 WebSocketでWEBと連携する 他のPCからのWebSocket接続を許可する
WebSocket PIN

待ち受けSIPポートではSIPのポート番号を変更することができます。ポート番号は1024～655353までの間で設定してください。デフォルトは15060です。特に指定がない場合は15060を指定してください。

メディア開始ポートではRTP開始ポート番号を変更することができます。特に指定がない場合は4000を指定してください。実際に使用されるポートは開始ポートを含め+20となり、4000-4019ポートをメディア用に使用します。

STUNサーバアドレスにアドレスを入力しておく、NAT越え設定でSTUNが選択された際に、このアドレスを使用してNAT越えを試みます。STUNサーバは公開されている有効なサーバをご利用になるか、もしくは任意のアドレスをご入力ください。カンマ (,) 区切りで複数設定することもできます。この項目は省略可能です。この項目を有効にするには「**STUNを使いNAT越えを行う**」にチェックを入れてください。

STUNサーバのリスト

stun.l.google.com:19302

stun.ekiga.net

stun1.l.google.com:19302
stun2.l.google.com:19302
stun3.l.google.com:19302
stun4.l.google.com:19302

stun.iptel.org
stunserver.org

WebSocketでWEBと連携するではWebSocketによるWEB連携機能の有効/無効を切り替える事が出来ます。この機能を利用するにはWEB側が対応している必要があります。評価をご希望の場合は、弊社までお問い合わせください。

他のPCからのWebSocket接続を許可する場合は**WebSocket PIN**コードを設定してください。PINコードを設定すると、Web側と同じPINコードのアクセスのみ接続を許可します。（同一PCからのみ接続されるという場合は、この設定はOFFのままご使用ください。）他のPCから接続される場合は、セキュリティ設定を十分確認された上、ローカルネットワーク以外からのアクセスを遮断されていることを確認し、他のPCからの接続はローカルネットワーク内のみで使用されることを強く推奨します。なお、他のPCからのWebSocket接続を行うにはファイアウォールの設定を変更する必要がある場合があります。AGEphone Business 4の通信が許可されている事を確認してください。

ネットワークプロトコルでは使用するネットワークプロトコルをIPv4、IPv6のどちらかを指定します。

SIP設定

<input type="checkbox"/>	NAT越えのためのシンメトリック応答ルーティングを有効にする
<input type="checkbox"/>	静的ペイロードタイプをRTPMAPに記載する
<input type="checkbox"/>	REPLACE付転送を使う
<input type="checkbox"/>	応答前転送のBYEをsipfragの100 TRYINGの直後に送信する
着信時の動作	<input type="text" value="何もしない"/> タイムアウト(秒) <input type="text" value="30"/>
<input type="checkbox"/>	アプリ起動時にREGISTERの前にUNREGISTERを送信する

NAT越えのためのシンメトリック応答を有効にするをオンにすると、RFC3581に基づき、リクエストが生成されたソースIPアドレスおよびポートへ応答を返すようにサーバへ要求します。（RFC3581に対応していないSIPサーバではBad Requestを返す場合があるのでご注意ください）

静的ペイロードタイプをRTPMAPに記載するをオンにするとSIPのパケットにRTPのペイロード種別を記載します。通常は必要ありませんが、サーバによっては記載がないとエラーを返すものがあります。

REPLACE付転送を使うをオンにすると、通話の転送を行う際にREPLACEヘッダを使用します。SIPサーバによって必要の有無が異なりますが、転送に問題がないときには変更の必要はありません。

応答前転送のBYEをsipfragの100 TRYINGの直後に送信するをオンにすると、Asteriskサーバをご利用の場合に応答前転送がご利用いただけます。Asteriskサーバをご利用でない場合は、オフにしてご利用ください。

着信時の動作では、着信時に**タイムアウト（秒）**で指定した秒数が経過した場合に、着信にどのように対応するかを設定します。

アプリ起動時にREGISTERの前にUNREGISTERを送信するをオンにすることで、他のPCなどで同じアカウントで利用していた場合に、アプリ起動時にREGISTERの上書きを行い、ご利用のPC上のAGEphone Business 4で着信できるようになります。

メディア設定

録音保存先	C:\Users\yumi\OneDrive - ageet様	フォルダー選択
着信音デバイス	スピーカー (VoIPvoice USB Phone)	▼
音声出力デバイス	Default Playback Device	▼
音声入力デバイス	Default Capture Device	▼
USBハンドセット	OFF	▼
最大ジッタバッファ	3000	▼ <input type="checkbox"/> 無音圧縮(VAD)
パケット長 (ptime)	Default	▼ <input type="checkbox"/> エコーキャンセル
DTMF種別	Rfc2833	▼ <input type="checkbox"/> 通話録音自動開始
メディア暗号化(SRTP)	必須	▼ <input type="checkbox"/> Ogg形式で録音する
Opusのペイロードタイプ	98	<input type="checkbox"/> Stereoで録音する
コーデック優先順位		
有効	無効	
opus	上	g722
	下	g729
	<<	gsm
	>>	pcma
		pcmu
		speex/16000
		speex/8000
		▼
		SRTP設定

録音保存先では、AGEphone Business 4で録音した録音ファイルの保存先を指定します。フォルダー選択をクリックし、任意のフォルダを選びます。保存先を変更すると、それまでに録音されていた録音ファイルもすべて変更後のフォルダへ移動します。

着信音デバイスでは、電話の着信時に着信音を再生するためのデバイスを選びます。

音声出力デバイスでは、通話時に通話音声を再生するためのデバイスを選びます。

音声入力デバイスでは、通話時に通話音声を入力（録音）するためのデバイスを選びます。

USBハンドセットでは、通話に用いるハンドセットを選択します。対応デバイスは一覧表示されますが、対応していないデバイスは一覧に表示されません。

最大ジッタバッファでは、より大きい数値（単位はミリ秒）を設定するとその分の遅延が発生しますが、指定された秒数間のバッファがなくなるまで音飛びを防ぐことが可能になります。

パケット長 (ptime)ではパケットの長さを10msecから50msecの中で指定します。通常変更することはありませんが、無線接続などで音飛びがひどい場合、40msec以上を選ぶことで改善される場合があります。ただしこの設定はサーバの仕様に依存し、変更できない場合があります。

DTMF種別ではDTMFを2種類から選択します。Inbandを選択した場合は、みなし音声としてDTMF信号を送出します。Inbandで送出的る場合、コーデックはpcmuもしくはpcma以外の動作保証はしておりません。RFC2833を選択した場合は、DTMF信号をRFC4733に準拠した形式で送 out します。RFC4733はサーバ（ゲートウェイ等）側で対応している必要があります。

メディア暗号化 (SRTP)では無効、任意または必須から選択します。必須にすると、SDES方式で音声パケットを暗号化します。この設定はサーバが対応している必要があります。

Opusのペイロードタイプでは、96から127の値を指定します。

無音圧縮 (VAD)をオンにすると、無音時にパケットを送らないようにします。

エコーキャンセルをオンにすると、ソフトウェアエコーキャンセルを行います。これにより相手に聞こえるエコーが軽減されます。

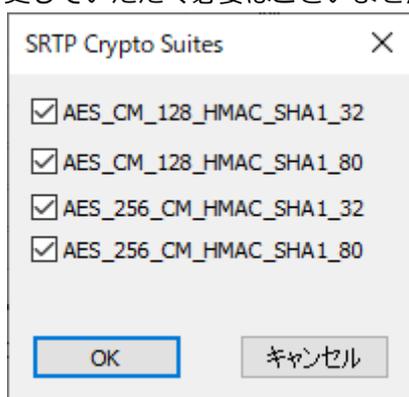
通話録音自動開始をオンにすると、通話開始時に通話録音を開始します。

Ogg形式で録音するをオンにすると、通話録音ファイルをoggフォーマットで出力します。

Stereoで録音するをオンにすると、通話をステレオ録音します。録音ファイルでは、自分の音声は左側のチャンネル、相手の音声は右側のチャンネルで再生されます。

コーデック優先順位では、有効時の優先度と、使用するコーデックのオン/オフがリストにより設定出来ます。有効にする場合は右のリストから入れたいコーデック名を選び、「<<」ボタンをクリックしてください。無効にする場合は左のリストから無効にしたいコーデック名を選び、「>>」ボタンをクリックしてください。

SRTPをクリックすると、SRTPのcrypto-suiteに使用するリストを表示します。通常は設定を変更していただく必要はございません。



一般設定

同時通話の数	2	<input checked="" type="checkbox"/> 着信時にポップアップを表示する	
<input type="checkbox"/> 最後のラインを転送専用にする		<input type="checkbox"/> アイドル時にアイドル音を再生する	
<input checked="" type="checkbox"/> 通話中の着信を拒否する		<input checked="" type="checkbox"/> ×ボタンでアプリを完全に終了する	
保留音	hold_music.wav	再生	ファイル選択
保留継続音	hold_reminder_jp.wav	再生	ファイル選択
アイドル音	idle_music.wav	再生	ファイル選択
内線着信音	ringtone.wav	再生	ファイル選択
外線着信音	ringtone_bell.wav	再生	ファイル選択
パークプラグイン	Asterisk		パーク特番
	0 秒経過後に保留継続音を鳴らす		着信鳴り分け

同時通話の数をここで指定できます。同時通話の数が2の時は3つ目の発信が行えなくなるので、転送先との通話が確立できている間は、さらに別の転送先との通話はできないように設定できます。同時通話の数が3の時は3つ目の発信が行えるようになります。

着信時にポップアップを表示するをオンにすると、着信時に着信ポップアップを表示します。ショートカット設定の**着信時にフォーカスを取得する**をオンにして利用される場合は、こちらの設定もオンにしてください。

最後のラインを転送専用にするをオンにすると、**同時通話の数**で設定している数の内の一呼を転送専用にすることができます。例えば**同時通話の数**が2の場合、1つ目の通話中に着信があると、**通話中の着信を拒否する**がオフであっても着信を拒否するため、2つ目である転送先への発信を行うことができます。

アイドル時にアイドル音を再生するをオンにすると、**アイドル音**で設定した音声ファイルを待機中に常に再生します。通話状態、もしくは設定画面を開いた際に停止し、待機中に戻ると再生を再開します。

通話中の着信を拒否するをオンにすると、発信中や着信中、通話中の着信を拒否します。オフにすると、発信中や着信中、通話中に通知音を鳴らし、着信を知らせます。通話ラインボタンにより接続する 通話相手を選択できます。

×ボタンでアプリを完全に終了するをオンにすると、AGEphone Business 4のメニューバーの×ボタンからAGEphone Business 4を終了することができます。終了時、確認ダイアログを許可することでAGEphone Business 4を終了します。

保留音では、任意の保留音に差し替えることが可能です。保留音の拡張式はwavファイルで8kHz16ビットのモノラル形式であることと、60秒以内の音声ファイルである必要があります。**再生**から設定中の保留音を再生することができます。

保留継続音では、通話保留中に**秒経過後に保留継続音を鳴らす**で指定した秒数が経過した際に再生する保留継続音を任意の保留継続音に差し替えることが可能です。保留継続音の拡張式はwavファイルで8kHz16ビットのモノラル形式であることと、60秒以内の音声ファイルである必要があります。**再生**から設定中の保留継続音を再生することができます。

アイドル音では、任意のアイドル音に差し替えることが可能です。アイドル音の拡張式はwavファイルで8kHz16ビットのモノラル形式であることと、60秒以内の音声ファイルである必要があります。**再生**から設定中の保留音を再生することができます。

内線着信音では、内線と判断される桁数の番号からの着信音を差し替えることが可能です。着信音の拡張式はwavファイルで8kHz16ビットのモノラル形式であることと、60秒以内の音声ファイルである必要があります。**再生**から設定中の着信音を再生することができます。

外線着信音では、**外線と判断される桁数**の番号からの着信音を差し替えることが可能です。着信音の拡張式はwavファイルで8kHz16ビットのモノラル形式であることと、60秒以内の音声ファイルである必要があります。**再生**から設定中の着信音を再生することができます。

パークプラグインでは、パークプラグインの種類を指定できます。通常は設定を変更していただく必要はありません。

パーク特番をクリックすると、パーク特番の設定を表示します。

パーク特番	
パーク保留の特番	70
パーク保留の入ロットID	
パーク応答の特番	
パーク応答の入ロットID	71

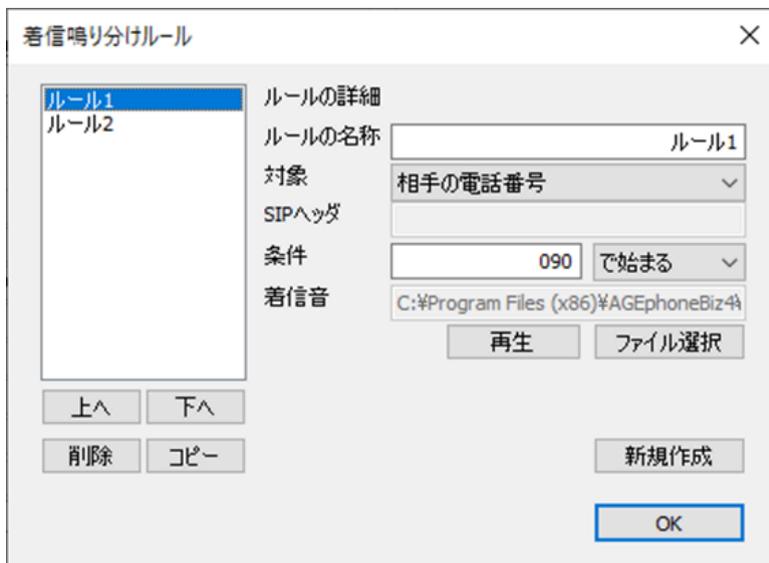
パーク保留の特番...パーク保留を実行するための特番を入力します。

パーク保留のロットID...パーク保留を実行する際のロットを入力します。

パーク応答の特番...パーク保留されている通話に回答するための特番を入力します。

パーク応答のロットID...パーク保留されている通話に回答する際のロットIDを入力します。

着信鳴り分けをクリックすると、着信音と鳴り分けルールを設定を表示します。



上へをクリックすると、選択しているルールの優先順位を繰り上げます。

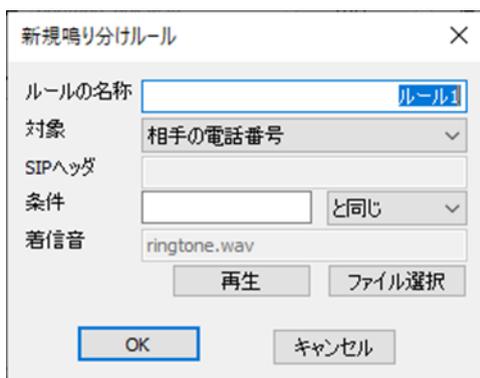
下へをクリックすると、選択しているルールの優先順位を繰り下げます。

削除をクリックすると、選択しているルールを削除します。

コピーをクリックすると、選択しているルールをコピーします。

ルールの詳細では、選択しているルールの詳細を確認、編集できます。編集内容は自動保存されます。

新規作成をクリックすると、新規鳴り分けルールの作成画面を表示します。



ルールの名称...任意のルール名を入力します。

対象...ルールの対象を、相手の電話番号またはSIPヘッダから選択します。

SIPヘッダ...対象にSIPヘッダを選択した場合、SIPヘッダの値を入力します。

条件...対象と同じにする場合は、「と同じ」を選択し、条件に値を入力します。

対象が条件で始まる場合は、「で始まる」を選択し、条件に値を入力します。

対象が条件を含む場合は、「を含む」を選択し、条件に値を入力します。

対象を正規表現に当てはめる場合は、「正規表現」を選択し、条件に値を入力します。

着信音では、ルールに当てはまる相手からの着信音を差し替えることが可能です。着信音の拡張式はwavファイルで8kHz16ビットのモノラル形式であることと、60秒以内の音声ファイルである必要があります。

再生から設定中の着信音を再生することができます。

OK...ルールを保存します。

キャンセル...ルールの保存・編集を破棄します。

OKをクリックすると、着信鳴り分けルールの画面を閉じます。

ショートカット設定

発信/応答	Enter
切断	Esc
<input checked="" type="checkbox"/> 着信時にフォーカスを取得する	

発信/応答でEnterやShift+Enterを設定しておく、電話番号入力後や着信時に、クリック操作を行わなくても、設定したショートカットコマンドを入力することにより発信操作が実行されます。

切断でEscやShift+Escを設定しておく、電話番号入力後や発信中、通話接続中に、クリック操作を行わなくても、ショートカットコマンドを入力することにより切断操作が実行されます。

着信時にフォーカスを取得するは規定でONの状態です。OFFに変更すると、着信時にAGEphone Business 4がフォーカスを取得しないようになるため、別ソフトでテキスト入力中などの時にAGEphone Business 4へ着信があった際にAGEphone Business 4にフォーカスが奪われず、入力が止まってしまう事を防ぎます。

2.6 アクションURL

アクションURL

相手のID 相手の名前 自分のID 自分の名前 Call ID

着信時

発信時

通話開始時

切断時

アクションURLを有効にする リンクを外部ブラウザで開く
 通話開始時にWindowを開じる 切断時にWindowを開じる
 同じ通話のリンクを同じWindowで開く

OK キャンセル

着信時、発信時、通話開始時、切断時、それぞれのタイミングでWEBサービスと連携することができます。

またパラメータとして使えるのは次の5つです。

相手のID (番号) ...%rid%
相手の名前 (連絡先名または表示名¹) ...%rname%
自分のID (番号) ...%lid%
自分の名前 (表示名) ...%lname%
Call ID...%callid%

Call IDとは、通話ごとにユニーク (一意) になるIDのことで、通話を識別する際に利用できます。

アクションURLを有効にするをオンにすると、設定しているアクションURLがそれぞれのタイミングで実行されます。

¹ SIPパケットに表示名が含まれている場合に限りです。

リンクを外部ブラウザで開くをオンにすると、設定したURLを外部ブラウザで開きます。

通話開始時にWindowを閉じるをオンにすると、アクションURLで開かれたWindowを通話開始時に閉じます。

切断時にWindowを閉じるをオンにすると、アクションURLで開かれたWindowを通話切断時に閉じます。

同じ通話のリンクを同じWindowで開くをオンにすると、例えば着信時と通話開始時にアクションURLが指定されていた場合、着信時に開いたWindowが通話開始時に通話開始時のアクションURLに更新されます。

着信時にその相手の番号をGoogleで調べたいときは、「

<https://www.google.co.jp/search?q=%rid%>」とします。

名前で調べる場合は「<https://www.google.co.jp/search?q=%rname%>」とします。検索に使用する値の優先順位は、次の通りです。

- 連絡先に登録されている名前
- 相手のSIPアカウントの表示名
- 相手のユーザID

アクションURL

相手のID 相手の名前 自分のID 自分の名前 Call ID

着信時

発信時

通話開始時

切断時

アクションURLを有効にする リンクを外部ブラウザで開く

通話開始時にWindowを閉じる 切断時にWindowを閉じる

同じ通話のリンクを同じWindowで開く

OK キャンセル

例えば上記のような設定にすれば、着信した時には相手の番号で検索し、通話開始時には相手の名前（アドレス帳に登録されている連絡先名または表示名²）で検索することができます。この様にWEB連携が可能ですのでCRMなどのWEBアプリケーションと容易に連携することができます。

URLの一部に日本語を利用する場合はURLエンコードを行ってください。ただし、URL中にパラメータを指定する場合はそのパラメータはエンコードを行わないでください。

例:

期待するURL

<https://www.example.com/param?電話番号=%rid%&お客様名=%rname%>

設定画面に入力するURL

<https://www.example.com/param?%E9%9B%BB%E8%A9%B1%E7%95%AA%E5%8F%B7=%rid%&%E3%81%8A%E5%AE%A2%E6%A7%98%E5%90%8D=%rname%>

² SIPパケットに表示名が含まれている場合に限りです。

アクションURLの応用例

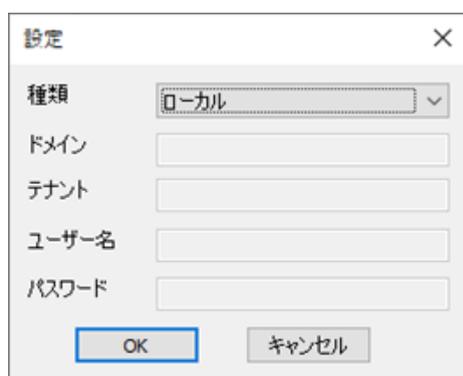
https://www.jpnumber.comというサイトがあります。このサイトでは迷惑電話か否かの検索を行うことができます。しかし、着信があって直ぐこのサイトを開いて番号を検索するのは難しいため、アクションURLが活躍します。

アクションURLの「着信時」に「

<https://www.jpnumber.com/searchnumber.do?number=%rid%>」と登録してみてください。着信と同時にその番号が迷惑電話でないか検索できます。

2.7 アドレス帳設定

AGEphone Business 4のメニューバーの  (アドレス帳ボタン) から開くアドレス帳の設定が行えます。



設定

種類

ドメイン

テナント

ユーザー名

パスワード

OK キャンセル

種類...使用するアドレス帳の種類を選択します。

AGEphone Business 4のアドレス帳機能を使用する場合はローカル、+電話帳のクラウドサーバを使用する場合は+電話帳を選択します。

ドメイン...+電話帳を使用する場合、クラウドサーバのドメインを入力します(入力必須)。

テナント...+電話帳を使用する場合、クラウドサーバのテナントを入力します(入力必須)。

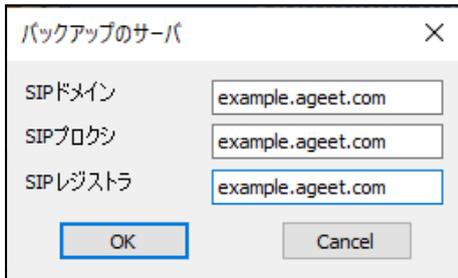
ユーザー名...+電話帳を使用する場合、クラウドサーバのユーザー名を入力します(入力必須)。

パスワード...+電話帳を使用する場合、クラウドサーバのパスワードを入力します(入力必須)。

3. ディザスタリカバリ機能

3.1 機能説明

DR（ディザスタリカバリ）機能は災害発生時などの復旧対策機能です。[バックアップのサーバ](#)の設定内で予めバックアップ用のサーバ情報を設定しておくこと、万が一メインサーバが停止した際にバックアップサーバで再度レジスター登録を試みます。※ユーザIDやパスワードはメインサーバとバックアップサーバで同じものが使用されている必要があります。



バックアップのサーバ

SIPドメイン example.ageet.com

SIPプロキシ example.ageet.com

SIPレジスタ example.ageet.com

OK Cancel

3.2 DR機能有効時



DR機能が動作し、バックアップサーバへ切り替わった際は  がメイン画面に表示されます。また、切替時はポップアップのお知らせが表示されます。

想定される切替シーンの例：

- ①AGEPHONE Business 4起動時にメインサーバが停止している場合は、バックアップサーバを使用しレジスター登録を行います。
- ②AGEPHONE Business 4起動後にメインサーバが停止した場合、次の再レジスターが行われるタイミングでバックアップサーバを使用しレジスター再登録を行います。
- ③メインサーバが停止した後にAGEPHONE Business 4で発信を行った場合、発信が失敗した後にバックアップサーバを使用しレジスター再登録を行い、レジスター登録後に失敗した発信先へ再度発信を行います。
- ④メインサーバもバックアップサーバも停止している場合は、次の再レジスターが行われるタイミングでバックアップサーバもしくはメインサーバへ交互に接続を試みます。なお、いずれかのサーバが復旧した場合は一定時間経過後に復旧したサーバで再度レジスター登録を行います。

4. URLプロトコル連携

4.1 機能説明

Webブラウザ等から特定の形式のリンクをクリックする事で、AGEphoneでの発信が可能です。

例えば下記形式のリンクをクリックした場合、AGEphoneで613番に発信を行います。

`エコーテスト`

連携可能な形式は下記の通りです。

- callto://XXX
- phone://XXX
- sip://XXX
- agephone://XXX

4.2 関連付けの設定

The screenshot shows a dialog box titled "関連付けの設定" (Link Association Settings). It contains three sections, each with a checked checkbox and a text field labeled "以前の設定" (Previous Setting). The sections are:

- callto** (checked): 以前の設定: "C:\Program Files (x86)\AGEphoneBiz3\AGEphoneBi"
- phone** (checked): 以前の設定: "C:\Program Files (x86)\AGEphoneBiz3\AGEphoneBi"
- sip** (checked): 以前の設定: "C:\Program Files (x86)\AGEphoneBiz3\AGEphoneBi"

At the bottom of the dialog are two buttons: "OK" and "キャンセル" (Cancel).

AGEphone Business 4の初回起動時には、ブラウザからリンクをクリックした時、AGEphone Business 4から発信を行うように自動的に関連付けられていますが、Skype等、他のアプリケーションによって関連付けを奪われる場合があります。

関連付けの設定でチェックを入れる事で、AGEphone Business 4に再度関連付けを行う事ができます。また、チェックを外す事で、AGEphone Business 4に関連付ける前の設定に復元する事が可能です。

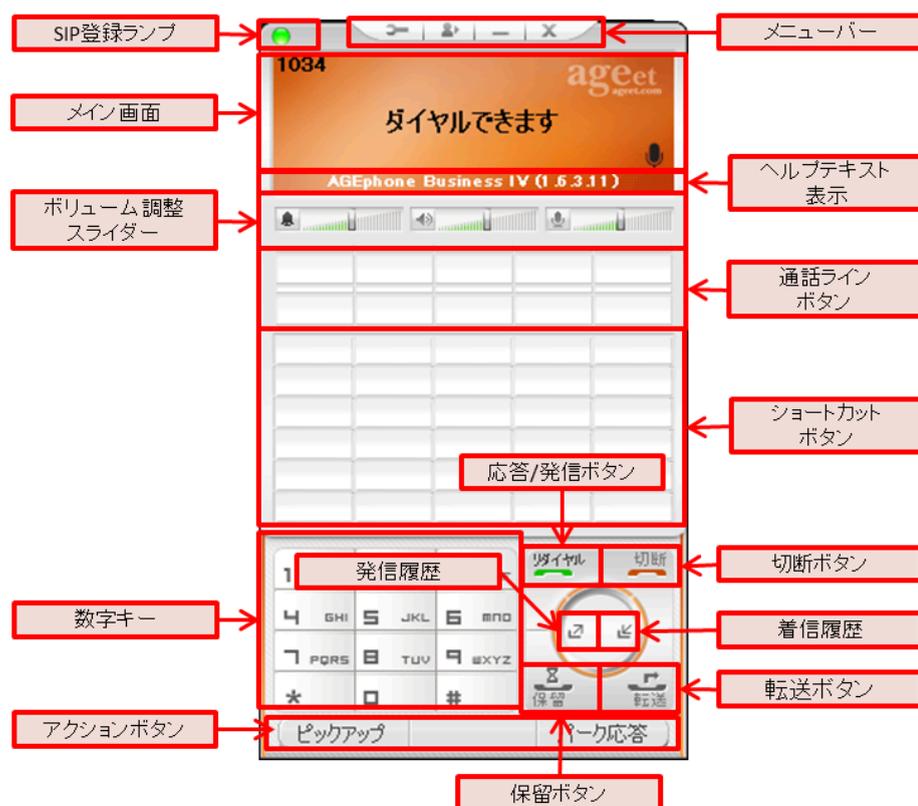
以前の設定にはAGEphone Business 4に関連付けられる前に設定されていた値が表示されます。

5. 操作方法

キーボードから主要な操作は全て行えるように設計されています。(キーボードから行える操作は、ポップアップメニューの右側にも記載があります)

メイン画面にフォーカスされている状態で、キーボードから数字を入力すればダイヤル先を入力できます。

5.1 各部名称



SIP登録ランプ...SIPサーバへの接続状況を示します。接続に成功している場合は緑色に点灯し、失敗している場合は赤色に点灯します。

メニューバー...各ボタンから、[2.3 設定画面](#)や、[6. アドレス帳](#)といったメイン画面を開いたり、[AGEphone Business 4を最小化](#)したりすることができます。

メイン画面...接続状況や入力内容を表示します。

ヘルプテキスト表示...マウスカーソルを各ボタンに置いた際に、そのボタンをクリックすることで実行可能な動作をテキストで表示します。

ボリューム調整スライダー...各ボリュームをスライダーを動かすことで調整します。

通話ラインボタン...通話を開始すると、通話相手の情報を表示し、アクティブな通話のボタン上部を青色に表示します。また、ステータスに応じて、ボタンを赤・黄色などに素早く点滅、または、ゆっくり点滅表示します。

ショートカットボタン...よくダイヤルする番号を登録することができます。

数字キー...クリックすることで数字や記号を入力できます。

発信/応答ボタン...メイン画面に番号の入力がある場合は、その番号へ発信を試みます。メイン

画面に番号の入力がない場合は、前回の発信先へリダイヤルを試みます。着信時には、応答を試みます。

切断ボタン... 接続中の通話を切断します。発信時には発信をキャンセルし、着信時には着信を拒否します。メイン画面に番号の入力がある場合は、入力した内容をすべてクリアにします。

発信履歴... 直前に発信した番号を呼び出し、メイン画面に表示します。長くクリックすることでアドレス帳の履歴画面を開き、発信履歴をフィルター表示します。

着信履歴... 直前に着信した番号を呼び出し、メイン画面に表示します。長くクリックすることでアドレス帳の履歴画面を開き、着信履歴をフィルター表示します。

保留/保留解除ボタン... 接続中の通話を保留/保留解除します。保留/保留解除は単独通話時のみご利用いただけます。会議通話接続中は消音/消音解除ボタンとして動作します。

転送ボタン... 第二呼と通話中にクリックすることで、転送を試みます。転送が完了すると、AGEphone Business 4は待機状態へ戻ります。

アクションボタン... 着信に対しての留守番応答や、通話中の通話録音など、AGEphone Business 4の通話状況に応じて使用できるメニューを表示します。

5.2 ポップアップメニュー

メイン画面から右クリックすることでポップアップメニューを開きます。

通話操作に関することは別途ご説明いたしますが、ポップアップメニューからでも、通話、切断などの電話の操作が可能です。

📞	接続	Enter
📞	切断	Esc
📞	発信履歴	—
📞	着信履歴	—
	着信時の動作	>
📞	転送	
👥	会議	
🔇	保留	
	マイク消音	
	通話録音	>
	切断で転送完了	
	音声デバイス	
👤	アドレス帳...	
	拡大	>
	スキン切り替え	
	最小化	
	最前面に表示	
	移動	
	ツール	>
	バージョン情報	
	終了	

接続をクリックすると、着信中の通話に応答します。待機状態や転送先発信前にメイン画面にて番号が入力されている時にクリックすると、発信ボタンとして機能します。

切断を通話中にクリックすると、接続中の通話を切断します。発信中にクリックすると発信をキャンセルします。着信中にクリックすると着信を拒否します。

発信履歴をクリックすると、最新の発信履歴一覧を表示します。一覧から任意の履歴を選択すると、その履歴に対して発信を行います。

着信履歴をクリックすると、最新の着信履歴一覧を表示します。一覧から任意の履歴を選択すると、その履歴に対して発信を行います。

着信時の動作をクリックすると、着信時の動作に指定可能なリストと着信タイムアウトの秒数を表示します。

転送を第二呼との通話中にクリックすると、第一呼の通話を第二呼へ転送完了し、AGEphone Business 4は待機状態へと状態遷移します。

会議を第二呼との通話中にクリックすると、第一呼と第二呼と通話を接続し、通話会議を開始します。

保留を通話状態の時にクリックすると、接続中の通話が保留状態となります。また、保留状態の時には**保留解除**と表示が変化します。保留状態の時にクリックすると保留が解除され再び通話状態となります。

マイク消音を通話中にクリックすることにより一時的にマイク入力を消音状態にすることが可能です。マイク消音状態の時に再度マイク消音をクリックすると消音状態を解除し、再度通常通り通話が可能になります。なお、この機能は通話切断時にリセットされます。

切断で転送完了を有効にすると、転送を行う時に転送ボタンをクリックするのではなく、切断ボタンをクリックしたタイミングで転送を完了します。ここにチェックが入っていない場合は、切断ボタンをクリックすると接続中の通話が切断されます。

音声デバイスをクリックすると、通話用の音声デバイスの設定画面を開きます。

アドレス帳をクリックすると別画面でアドレス帳を開きます。

拡大をクリックすると、ソフトの拡大率を指定可能なリストを表示します。

スキン切り替えをクリックすると、ライトとダークのテーマの間で切り替えを行います。

最小化をクリックするとWindowsタスクバー右のタスクトレイにAGEphone Business 4を格納します。

最前面に表示を有効にするとAGEphone Business 4を常に他のウィンドウよりも手前に表示するようにします。

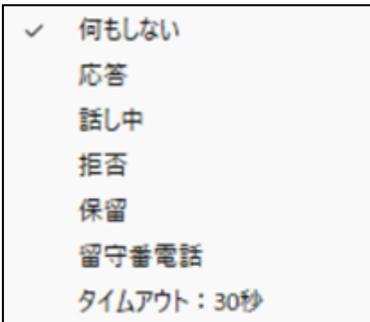
移動をクリックするとキーボードの方向キーやカーソルでウィンドウが移動できます。マルチモニターでの利用時に別画面への移動も可能になります。

ツールをクリックすると設定画面やその他実行可能なツールを指定可能なリストを表示します。

バージョン情報をクリックするとAGEphone Business 4のバージョン番号を確認できるダイアログを表示します。

終了をクリックすると確認ダイアログを表示します。確認ダイアログを許可することでAGEphone Business 4が終了します。

着信時の動作



着信時にタイムアウトで指定した秒数が経過した場合に、着信をどのように受けるかを指定出来ます。

何もしない...通話に対して操作を行わない限り着信状態が継続します。

応答...タイムアウトの秒数が経過すると、自動的に通話状態になります。

話し中...タイムアウトの秒数が経過すると、自動的に話し中を返します。

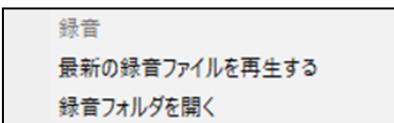
拒否...タイムアウトの秒数が経過すると、自動的に着信を拒否します。

保留...タイムアウトの秒数が経過すると、自動的に通話に回答した後、通話を保留します。

留守番電話...タイムアウトの秒数が経過すると、自動的に留守番電話として応答します。

タイムアウト...指定した着信時の動作を、着信してから何秒後に動作させるかを指定します。

通話録音



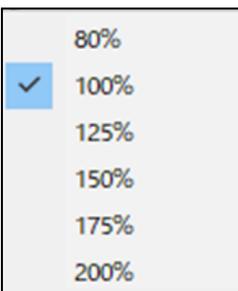
通話録音に関する操作が行えます。

録音...通話中にクリックすることにより、録音を開始します。通話を切断、または通話中にもう一度クリックしてチェックを外すと録音を停止します。

最新の録音ファイルを再生する...最後に録音した通話を再生します。

録音フォルダを開く...録音を記録しているフォルダを開きます。

拡大



AGEphone Business 4の拡大表示

80%...原寸大から80%の拡大率で表示します。

100%...原寸大で表示します。

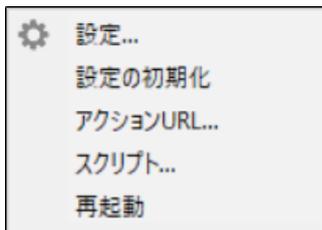
125%...原寸大から125%の拡大率で表示します。

150%...原寸大から150%の拡大率で表示します。

175%...原寸大から175%の拡大率で表示します。

200%...原寸大から200%の拡大率で表示します。

ツール



設定... [アカウント設定画面](#)を開きます。

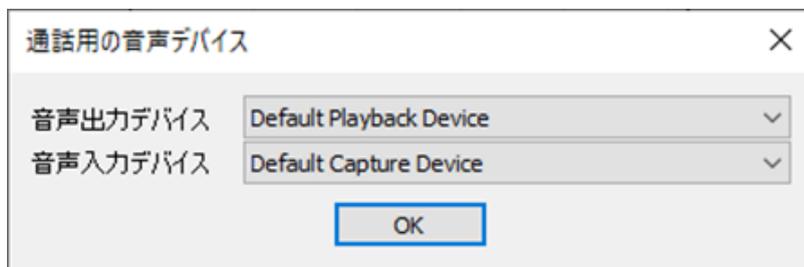
設定の初期化... アドレス帳や履歴、通話録音以外の保存データを削除します。

アクションURL... [アクションURL画面](#)を開きます。

スクリプト... スクリプト編集画面を開きます。

再起動... サーバとの接続を再試行します。

通話用の音声デバイス



音声出力デバイス... 通話時に通話音声を再生するためのデバイスを選びます。

音声入力デバイス... 通話時に通話音声を入力（録音）するためのデバイスを選びます。

5.3 メイン画面

SIPサーバへの登録

設定画面にて登録されたSIPサーバに接続が成功すると、メイン画面には「ダイヤルできます」のメッセージが表示され、緑のランプが点灯します。この状態の時に、発着信が可能となります。

SIPサーバに接続への接続が失敗している場合は赤のランプが点灯します。この状態では発着信できませんのでご注意ください。適切なネットワーク環境が存在しない場合や、適切な設定が行われていない場合、処理待ちによりAGEphone Business 4の画面の動作が遅く感じることがあります。その際は接続環境や設定内容を再度ご確認ください。

AGEphone Business 4に何らかのエラーが発生している場合、メイン画面にメッセージを表示します。メッセージの内容に応じて、AGEphone Business 4の設定や、PCの設定をご確認ください。

例①「音声デバイスが見つかりません」



ご利用のPCに接続されている入出力音声デバイスが見つからない場合などに表示されます。ヘッドセットやイヤホンなどの音声デバイスがPC側で接続されているかや、セットアップが完了しているかなどをご確認ください。

例②「+電話帳の認証に失敗しました。」



アドレス帳に+電話帳が指定されている状態で、ログイン情報が無効な場合などに表示されます。2.7 アドレス帳設定画面で、ログイン情報をお確かめください。

5.4 着信時

着信番号が連絡先の電話番号にある場合その名前を表示します。また、この時着信履歴にもその名前が記録されます。



着信に応答する

 (応答/発信ボタン) をクリック、または[ショートカット設定](#)で登録しているショートカットキーを押下して着信に応答します。ポップアップ通知の応答ボタンからも応答が可能です。



留守番電話応答を行う

着信時のアクションボタンより、留守番電話をクリックすることで留守番電話応答します。録音された留守番電話メッセージは、[ポップアップメニュー](#)の通話録音内の録音フォルダを開くから確認できます。

着信を無視する

着信時のアクションボタンより、無視をクリックすることで着信を無視します（発信相手には知らされません）。

5.5 発信時

ダイアルボタンで相手先の番号を入力した後、（応答/発信ボタン）をクリックすることで発信を行います。



ショートカットボタンやアドレス帳から発信先を選んだ場合は、即時発信となります。

5.6 通話する

着信中に （応答/発信ボタン）をクリックすることで通話が始まります。また発信中に、相手が応答することで通話が始まります。



メイン画面には通話相手の情報と、通話時間を表示します。通話ラインボタンには通話中の相手番号を表示します。

通話を録音する

通話中のアクションボタンより、通話録音をクリックすることで通話の録音を開始します。録音された[通話留守番電話メッセージ](#)は、[ポップアップメニュー](#)の通話録音内の録音フォルダを開くから確認できます。



録音中はメイン画面の左下に録音ボタンが点滅します。録音を停止するには、アクションボタンの録音停止または[ポップアップメニュー](#)の通話録音内の録音をクリックします。

5.7 発信のキャンセル

呼び出し音の再生中に  (切断ボタン) をクリックすることで発信の中断を行います。

5.8 通話を切断する

通話中に  (切断ボタン) をクリックすることで接続中の通話を切断できます。

5.9 通話を保留する

通話中に  (保留ボタン) をクリックすることで接続中の通話を保留します。



保留中に  (保留解除ボタン) をクリックすることで保留を解除します。
※本製品の保留機能はRFC2327/RFC3264/Streamingのいずれかに対応していない場合動作いたしません。

[一般設定](#)の[秒経過後に保留継続音を鳴らす設定](#)に1以上を指定している場合、指定した秒数が経過すると保留継続音を再生し、メイン画面にも保留状態が継続していることを示すメッセージを表示します。



保留を解除することで保留継続とメッセージの表示は停止します。また、通話相手の保留操作では保留継続音とメッセージは動作いたしません。

5.10 通話を転送する

通話を転送するには、2つの回線で通話を確立している必要があります。まず、第一呼の通話を保留状態にし、その状態で第二呼の通話をダイヤルしてください。第二呼通話中に （転送ボタン）をクリックすることで通話を転送します。



通話を録音する

第二呼通話中のアクションボタンより、通話録音をクリックすることで通話の録音を開始します。録音された[通話留守番電話メッセージ](#)は、[ポップアップメニュー](#)の通話録音内の録音フォルダを開くから確認できます。

通話会議を行う

第二呼通話中のアクションボタンより、第一呼の通話と第二呼の通話と会議を開始します。詳しくは、[5.11 通話会議を行う](#)をご参照ください。

応答前転送を行う

転送先が応答する前に通話を転送する応答前転送を行うには、まず、第一呼の通話を保留状態にします。その状態で第二呼の転送先を入力し、（転送ボタン）をクリックします。



※Asteriskサーバをご利用の場合、全般設定内の[SIP設定](#)より、**応答前転送のBYEをsipfragの100 TRYINGの直後に送信する**をオンにする必要があります。

5.11 通話会議を行う

接続中の通話が2つ以上ある場合に、会議のアクションボタンをタップすることで、すべての通話を接続して会議を行うことができます。



会議に参加している相手の番号は、通話ラインボタンに表示されます。



会議中には各ボタンにマウスカーソルを置いた際にヘルプテキスト表示をご参照いただくことで、どの通話に対してどのように動作するかをご確認いただけます。

例： （切断ボタン）にカーソルを置いた場合



通話を切断する（会議通話接続中）

会議通話中に （切断ボタン）をクリックすることで接続中の会議の通話を一斉切断できます。

通話をミュート/ミュート解除する

通話中に （保留ボタン）をクリックすることで接続中の会議通話を消音にします。

消音中に （保留解除ボタン）をクリックすることで接続中の会議通話を消音解除します。

5.12 ピックアップ

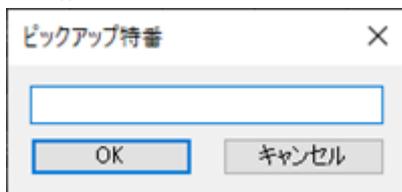
同じグループ内線などに着信している通話をピックアップのアクションボタンより、代理応答することができます。例えばAさん呼び出した内線を、同グループの電話を使用しているBさんが応答したケースが該当します。

※ピックアップはご利用のサーバが対応している必要があります。対応していない場合は、ご利用いただけませんのでご注意ください。



ピックアップ特番を登録する

ピックアップのアクションボタンを利用するには、特番の設定が必要です。ピックアップをクリックして特番を入力し、OKをクリックすることで登録が完了します。すでに登録されている特番を編集するときは、キーボードのShiftキーを押しながらボタンをクリックします。



5.13 パーク保留・パーク応答

接続中の通話をパーク保留（サーバへ一時的に通話を預ける）することができます。パーク保留された通話は、同じサーバを使用しているアカウントからであれば、再び通話を接続させることが可能です。

※パーク保留・応答はご利用のサーバが対応している必要があります。対応していない場合は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

パーク保留する

通話中に、パーク保留のアクションボタンより、接続中の通話をパーク保留できます。



パーク応答する

待機中に、パーク応答のアクションボタンより、パーク保留されている通話に応答することができます。



パーク特番を登録する

パークのアクションボタンを利用するには、特番の設定が必要です。パーク特番をクリックして特番を入力し、OKをクリックすることで登録が完了します。すでに登録されている特番を編集するときは、キーボードのShiftキーを押しながらボタンをクリックします。必要な設定項目や設定値については、ご利用のサーバによって異なります。ご利用を希望される場合は、サービスプロバイダーまたはシステム管理者へお問い合わせください。

パーク特番		×
パーク保留の特番	<input type="text" value="70"/>	
パーク保留のロットID	<input type="text"/>	
パーク応答の特番	<input type="text"/>	
パーク応答のロットID	<input type="text" value="71"/>	
<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/>		

5.14 通話ラインボタン

通話ラインボタンは、通話がどのような接続状態であるかや、通話が2つ以上ある場合に、通話の切り替えなどをワンクリックで行うことができます。
利用できる通話ラインボタンの数は、[一般設定](#)の**同時通話の数**により変動します。

■待機中



通話が無い場合、何も表示しません。

■着信中



通話相手の番号が赤色に素早く点滅します。（応答/発信ボタン）やショートカットキーの他に、通話ラインボタンをクリックすることで着信に応答します。

右クリックして表示されるメニューからも着信に対する操作が行えます。



応答をクリックすると、通話ラインボタンをクリックした時と同じく、通話に応答します。すでに接続中の通話がある場合、その通話は保留状態となります。会議中の場合は会議に参加している通話相手のスピーカーと、自分の通話音声を消音にします。会議中に参加している通話は通話の継続が可能です。

留守番電話をクリックすると、留守番電話での応答を開始します。

無視をクリックすると、着信を無視します（相手には知らされません）。

切断をクリックすると、応答を拒否します。

■発信中



通話相手の番号が赤色に点灯します。  (切断ボタン) またはショートカットキー、通話ラインボタンの右クリックから表示するメニューの切断から、発信をキャンセルします。



■通話中



通話相手の番号が赤色に点灯します。  (切断ボタン) またはショートカットキーから通話を切断します。



複数の通話を接続している場合、保留中の通話ラインボタンをクリックすることで、通話の切り替えが行えます。

右クリックして表示されるメニューからも通話相手に対する操作が行えます。



スピーカー消音をクリックすると、選択した通話相手からの通話音声をミュートします。
切断をクリックすると選択した通話相手との通話のみ終了します。

保留中の通話相手の通話ラインボタンを右クリックして表示されるメニューからも、以下の操作が行えます。



転送をクリックすると、接続中の通話を選択した通話相手へ転送します。
切断をクリックすると選択した通話相手との通話のみ終了します。

■保留中



通話相手の番号が赤色でゆっくりと点滅します。右クリックして表示するメニューは通話中と同じです。

■スピーカー消音中



通話相手の番号が黄色に点灯します。スピーカー消音を解除するには、再度通話ラインボタンを右クリックして**スピーカー消音解除**をクリックします。



■会議中



会議に参加している通話相手の番号全てが赤色に点灯します。会議中に参加している通話の切替を行うことはできませんが、もし会議として接続している通話と、単独で接続している通話が存在する場合は、その会議通話と単独通話間でのライン切替を行う事が可能です。

通話ラインボタンの右クリックのメニューから**切断**をクリックすると、選択した通話相手のみ会議から退出させることができます。

5.15 音量を調節する



着信音ボリュームを調整することができます。中央から左に動かすと0%~100%の間で調整できます。中央から右に動かすと100%~500%でブーストできます。バーにカーソルをあてることでヘルプテキストに現在のボリュームを表示します。

着信音量:100%



通話ボリュームを調整することができます。中央から左に動かすと0%~100%の間で調整できます。中央から右に動かすと100%~500%でブーストできます。バーにカーソルをあてることでヘルプテキストに現在のボリュームを表示します。

通話音量:100%



マイク入力のボリュームを調整することができます。中央から左に動かすと0%~100%の間で調整できます。中央から右に動かすと100%~500%でブーストできます。バーにカーソルをあてることでヘルプテキストに現在のボリュームを表示します。

マイク音量:100%

また通話中にマイクのアイコンをクリックすることでマイクをミュート状態にすることができます。

5.16 ショートカットボタン

ショートカットボタンはメイン画面中央に5x6個、合計30個配置されています。ここにはよくダイヤルする番号と名称を設定しておくことができます。右クリックのメニューから操作できる内容は、ショートカットボタンの登録状況や、通話状態によって変動します。

ショートカットを登録する

登録するには、ショートカットボタンの空欄をクリック、または右クリックのメニューから**編集**をクリックします。

■待機中



ショートカットの登録画面には、表示名と、ダイヤル番号を入力する2つのエリアがあります。
表示名にはあまり長い文字を入れると表示が隠れてしまいますので全角4文字までを目安に入力してください。
ダイヤルには相手先の番号を入力します。ダイヤル先として入力できるのは次の文字列です。「0-9,a-z,A-Z,*#-」

ショートカットを編集する

キーボードのShiftキーを押しながらショートカットボタンをクリック、または右クリックのメニューから**編集**をクリックします。

■待機中



ショートカットを削除する

右クリックのメニューから削除をクリックします。確認ダイアログが表示されますので、問題がないことを確認の上、削除を実施してください。

ショートカットから発信する

ショートカットボタンをクリック、または右クリックのメニューから**発信**をクリックします。

ショートカットからDTMFを送信する

ショートカットボタンをクリック、または右クリックのメニューから**DTMF送信**をクリックします。

■通話中



5.17 アプリケーションを最小化する

AGEphone Business 4のメニューバーの（最小化ボタン）をクリックすることで、AGEphone Business 4をタスクトレイに格納し、常駐状態で待機することができます。[一般設定](#)の×ボタンでアプリを完全に終了が無効の場合、[メニューバー](#)メイン画面上部の（終了ボタン）からも同様の操作が行えます。元の状態に戻す場合は、タスクトレイからAGEphone Business 4のアイコンをクリックしてください。

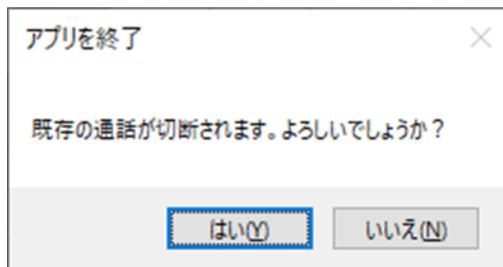
5.18 アプリケーションを終了する

[一般設定](#)の×ボタンでアプリを完全に終了が無効の場合、メニューバーの（終了ボタン）をクリックし、確認ダイアログを許可することでAGEphone Business 4を終了することができます。



[一般設定](#)の×ボタンでアプリを完全に終了が無効の状態ではアプリケーションを終了するには、メイン画面の[ポップアップメニュー](#)から**終了**を選択してください。

なお通話中にこの操作を行った場合にも、同様の確認ダイアログを表示します。確認ダイアログを許可すると、別の確認ダイアログを表示します。



この確認ダイアログを許可すると、通話が切断されますのでご注意ください。

5.19 通話履歴

通話履歴のモードは、メイン画面から簡単に呼び出せる[簡易履歴](#)と、[アドレス帳](#)から呼び出せる2種類があります。

簡易履歴では直近の10件のみをポップアップメニューで表示することができ、アドレス帳から呼び出せる履歴では、発信着信合わせて500件までの履歴がリストに表示されます。

各履歴の左側に表示されるアイコンは次の通りです。



発信...発信し、通話が確立した履歴を表します。



発信不在...発信し応答が無かった履歴を表します。

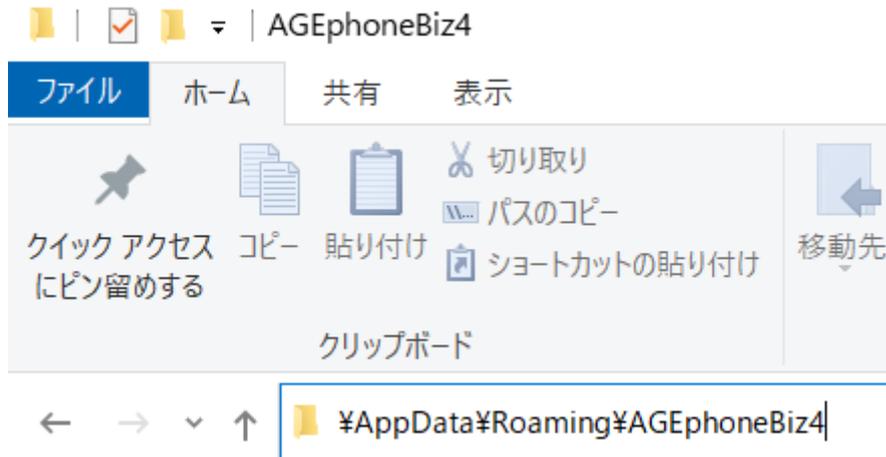


着信...着信し、通話が確立した履歴を表します。



不在着信...着信し応答が無かった履歴を表します。

通話履歴の格納場所



通話履歴、及びアドレス帳のデータは、以下の場所に格納されています。バックアップや消去を行う場合は、次のフォルダをご確認ください

%appdata%\AGEphoneBi4

また、cdr.dbというファイルは SQLite形式になっておりますので、SQLite対応の外部アプリとの連携が可能になっています。

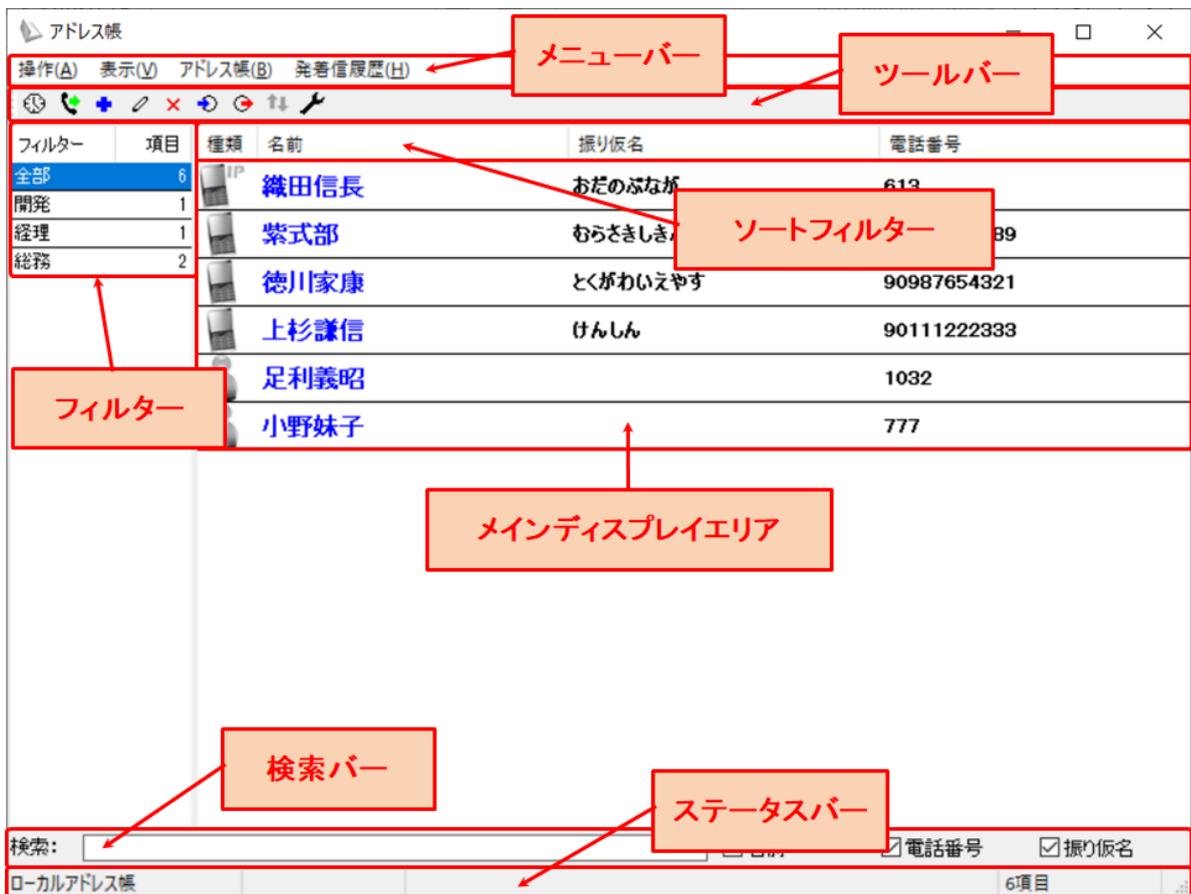
外部アプリ例-SQLite Database Browser

<http://sourceforge.net/projects/sqlitebrowser/>

6. アドレス帳

AGEphone Business 4のメニューバーの  (アドレス帳ボタン) をクリックすることでアドレス帳を開く事ができます。

6.1 各部名称



メニューバー...各メニューへのアクセスが可能です。利用可能なメニューはアドレス帳を表示している状態の時と発着信履歴を表示している時によって異なります。

ツールバー...よく使うメニューへのクイックアクセスが可能です。利用可能なメニューはアドレス帳を表示している状態の時と発着信履歴を表示している時によって異なります。

フィルター...フィルター表示エリアです。表示されるフィルターはアドレス帳を表示している状態の時と発着信履歴を表示している時や、アドレス帳の種類、フィルターの表示設定によって異なります。

メインディスプレイエリア...メインディスプレイに表示される内容はアドレス帳を表示している状態の時と発着信履歴を表示している時、フィルターの選択状態によって異なります。

ソートフィルター...連絡先や履歴の表示データを昇順降順にソートします。

検索バー...連絡先や履歴の検索が行えます。検索バーで使用可能な検索値は漢字・ひらがな・アルファベット・数字・記号となります。また、バー右部に設けられた下記のフィルターのチェックを有効・無効にすることにより更に絞った検索が可能になります。

ステータスバー...利用中のアドレス帳情報や該当件数など、その他ステータスの確認が可能です。

7. アドレス帳（ローカル）

AGEphone Business 4のアドレス帳機能を使用し連絡先を管理する際は、こちらのアドレス帳を使用します。+電話帳のクラウドサーバを使用し、アドレス帳を一元管理する操作方法については [8. アドレス帳（+電話帳）](#) をご確認ください。

7.1 メニューバー

操作(A) 表示(V) アドレス帳(B) 発着信履歴(H) アドレス帳画面のメニューバーから次の操作が可能です。

【アドレス帳表示状態】

■操作

発信... 発信を行う連絡先を選択した状態でクリックすると発信を行います。
※本操作は任意の連絡先の右クリック/ダブルクリック操作からも実行可能です。
終了... アドレス帳を閉じます。

■表示

アドレス帳... 非活性の状態です。
発着信履歴... アドレス帳が表示されている時にクリックすると発着信履歴に表示が切り替わります。

■アドレス帳

+電話帳... 非活性の状態です。
追加... ローカルアドレス帳へ連絡先を追加するための連絡先編集画面を開きます。
※本操作は任意の連絡先または空欄エリアの右クリック操作からも実行可能です。
編集... 連絡先を選択した状態でクリックすると既存の連絡先を編集するための画面が開きます。
※本操作は任意の連絡先の右クリック操作からも実行可能です。
削除... 連絡先を選択した状態でクリックすると連絡先の削除を実行するための確認画面が開きます。
※本操作は任意の連絡先の右クリック操作からも実行可能です。
インポート... ローカルアドレス帳へインポートする方法を選択する画面が表示されます。
エクスポート... ローカルアドレス帳のデータのエクスポート先を指定する画面が表示されます。
設定... 使用するアドレス帳を変更するための設定画面が表示されます。

■発着信履歴

発着信履歴を全て削除... 非活性の状態です。

【履歴表示状態】

■操作

発信... 発信を行う履歴を選択した状態でクリックすると発信を行います。
※本操作は任意の履歴の右クリック/ダブルクリック操作からも実行可能です。
終了... アドレス帳を閉じます。

■表示

アドレス帳... 発着信履歴が表示されている時にクリックするとアドレス帳に表示が切り替わります。

発着信履歴...非活性の状態です。

■アドレス帳

+電話帳...非活性の状態です。

追加...ローカルアドレス帳へ連絡先を追加するための連絡先編集画面を開きます。

編集...非活性の状態です。

削除...履歴を選択した状態でクリックすると履歴の個別削除を実行するための確認画面が開きます。

※本操作は任意の履歴の右クリック操作からも実行可能です。

インポート...非活性の状態です。

エクスポート...非活性の状態です。

設定...使用するアドレス帳を変更するための設定画面が表示されます。

■発着信履歴

発着信履歴を全て削除...発着信履歴が表示されている状態でクリックすると発着信履歴の全件削除を実行するための確認画面が開きます。

※本操作は任意の履歴または空欄エリアの右クリック操作からも実行可能です。

7.2 ツールバー

アドレス帳表示状態



アドレス帳画面のツールバーから次の操作が可能です。

アドレス帳表示切替...アドレス帳が表示されている時に  をクリックすると発着信履歴に表示が切り替わります。

発信...発信を行う連絡先を選択した状態で  をクリックすると発信を行います。

追加...  をクリックするとローカルアドレス帳に連絡先を追加するための連絡先編集画面を開きます。

編集...連絡先を選択した状態で  をクリックすると既存の連絡先を編集するための画面が開きます。

削除...連絡先を選択した状態で  をクリックすると連絡先の削除を実行するための確認画面が開きます。

インポート...  をクリックするとローカルアドレス帳をインポートする方法を選択する画面が表示されます。

エクスポート...  をクリックするとローカルアドレス帳のデータのエクスポート先を指定する画面が表示されます。

更新...  は非活性の状態です。

設定...  をクリックすると使用するアドレス帳を変更するための設定画面が表示されます。

発着信履歴表示状態



アドレス帳画面のツールバーから次の操作が可能です。

アドレス帳表示切替...発着信履歴が表示されている時に  をクリックするとアドレス帳に表示が切り替わります。

発信... 発信を行う履歴を選択した状態で  をクリックすると発信を行います。

追加...  をクリックするとローカルアドレス帳の連絡先を追加するための連絡先編集画面を開きます。

編集...  は非活性の状態です。

削除... 履歴を選択した状態で  をクリックすると履歴の個別削除を実行するための確認画面が開きます。

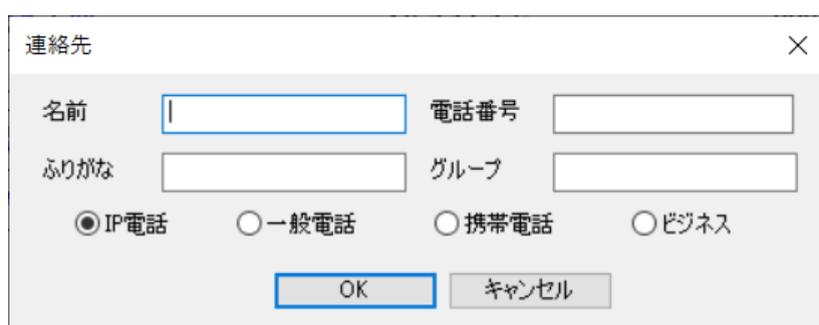
インポート...  は非活性の状態です。

エクスポート...  は非活性の状態です。

更新...  は非活性の状態です。

設定...  をクリックすると使用するアドレス帳を変更するための設定画面が表示されます。

7.3 アドレス帳の追加



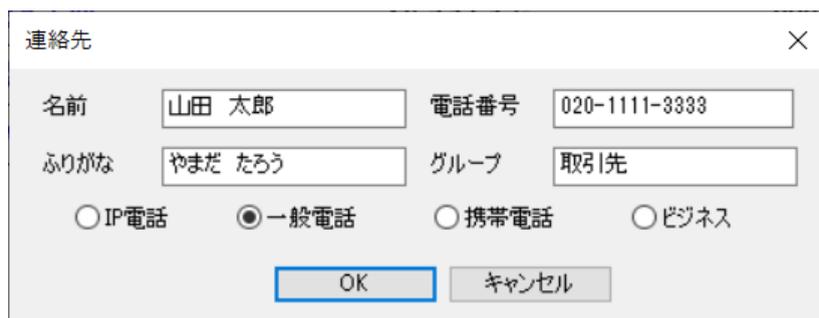
連絡先

名前	<input type="text"/>	電話番号	<input type="text"/>
ふりがな	<input type="text"/>	グループ	<input type="text"/>
<input checked="" type="radio"/> IP電話 <input type="radio"/> 一般電話 <input type="radio"/> 携帯電話 <input type="radio"/> ビジネス			
<input type="button" value="OK"/>		<input type="button" value="キャンセル"/>	

アドレス帳画面のメニューバーから「アドレス帳>追加」を選択するとローカルの連絡先を追加するための編集画面が開きます。

ここで必要な情報を入力しOKをクリックするとローカルの連絡先が新規登録されます。

7.4 アドレス帳の編集



連絡先

名前	<input type="text" value="山田 太郎"/>	電話番号	<input type="text" value="020-1111-3333"/>
ふりがな	<input type="text" value="やまだ たろう"/>	グループ	<input type="text" value="取引先"/>
<input type="radio"/> IP電話 <input checked="" type="radio"/> 一般電話 <input type="radio"/> 携帯電話 <input type="radio"/> ビジネス			
<input type="button" value="OK"/>		<input type="button" value="キャンセル"/>	

編集を行う連絡先を選択した状態でアドレス帳画面のメニューバーから「アドレス帳>編集」を選択すると連絡先を編集するための編集画面が開きます。

ここで必要な情報を入力しOKをクリックするとローカルの連絡先が更新

されます。

7.5 アドレス帳のエクスポート

アドレス帳画面のメニューバーから「アドレス帳>エクスポート」を選択し、エクスポート先を指定する事で、CSV形式でローカルアドレス帳のデータをエクスポート可能です。

7.6 アドレス帳のインポート

アドレス帳画面のメニューバーから「アドレス帳>インポート」を選択する事でローカルの連絡先へインポートが可能です。

インポートが可能な連絡先はOutlook、Windows Contacts、CSVファイル形式のいずれかです。

OutlookまたはWindows Contactsを選択し、**会社名ごとにグループを作成**をONにした状態でインポートを実行すると、連絡先の電話番号のラベルごとにグループが自動生成されます。

なおCSVファイルはカンマ区切りのCSVで文字コードはShift-JIS（Windowsの標準文字コード）でご利用ください。

例：
山田 太郎,020-1111-3333,取引先,やまだ たろう,2
伊藤 花子,020-2222-4444,友人,いとう はなこ,1

なお、CSVの入力可能項目は下記対応表の通りです。

名前	電話番号	グループ	ふりがな	電話の種類
山田 太郎	020-1111-3333	取引先	やまだ たろう	0~3で指定可能です。 0...IP電話 1...一般電話 2...携帯電話 3...ビジネス

7.7 フィルター表示

フィルター	項目
全部	7
開発	1
経理	1
取引先	1
総務	2

アドレス帳表示状態

連絡先の追加時にグループの登録があると、その名前からフィルターが自動生成されます。

全部...全ての連絡先を表示します。

任意のグループ...各グループに振り分けされた連絡先をグループ毎に表示します。

なおフィルター内で、右クリックを行うと次のメニューが表示されます。

グループでフィルターする...非活性の状態です。

組織でフィルターする...非活性の状態です。

空のフィルターを表示する...こちらを有効にしておくと、検索バーで連絡先を検索した際に検索結果が該当しない空のフィルターもフィルター表示されます。無効の場合は、該当する検索結果が存在しないフィルターは非表示の状態となります。

発着信履歴表示状態

フィルター	項目
全部	60
着信	10
発信	25
不在着信	13
発信不在	12

履歴のフィルターは下記の内容でフィルターされます。

全部...全ての履歴を表示します。

着信...着信し通話が接続された履歴を表示します。

発信..発信し通話が接続された履歴を表示します。

不在着信...着信し通話が接続されなかった履歴

を表示します。

発信不在...発信し通話が接続されなかった履歴を表示します。

7.8 表示データのソート

メインディスプレイの上部に設けられたソートフィルターをクリックすると昇順降順で表示データをソートし直すことができます。

アドレス帳表示状態

種類	名前	振り仮名	電話番号
----	----	------	------

種類...連絡先の種類順でソートします。

→ 降順...IP電話> 一般電話> 携帯電話> ビジネス

→ 昇順...ビジネス> 携帯電話> 一般電話> IP電話

名前...名前順でソートします。

→ 降順... A-Z> a-z> あ-ん> 漢字

→ 昇順...漢字> ん-あ> z-a> Z-A

振り仮名...振り仮名順でソートします。

→ 降順... 空白> あ-ん> ア-ン

→ 昇順...ん-あ> ン-ア> 空白

電話番号...電話番号でソートします。

→ 降順... 9から0

→ 昇順...0から9

発着信履歴表示状態

種類	名前	日付
----	----	----

種類.....連絡先の種類順でソートします。

→ 降順...発信> 発信不在> 着信> 不在着信

→ 昇順...不在着信> 着信> 発信不在> 発信

名前・電話番号...電話番号順でソートします。

→ 降順... 9から0

→ 昇順...0から9

日付..日付を昇順降順でソートします。

→ 昇順...新しい日付から古い日付

→ 降順...古い日付から新しい日付

7.9 検索

アドレス帳表示状態・発着信履歴表示状態共通

検索バーにてキーワードを入力すると、その入力値を用いて検索が実行されます。

検索:	<input type="text" value="あだ"/>	<input type="checkbox"/> 名前	<input checked="" type="checkbox"/> 電話番号	<input checked="" type="checkbox"/> 振り仮名
-----	---------------------------------	-----------------------------	--	--

検索バーで使用可能な検索値は漢字・ひらがな・アルファベット・数字・記号となります。また、アドレス帳表示状態では、バー右部に設けられた下記のフィルターのチェックを有効・無効にすることにより更に絞った検索が可能になります。発着信履歴表示状態では、名前と電話番号どちらかでの検索となります。

名前...有効時検索の対象に名前を含めます。無効時は名前は検索の対象に含めません。

電話番号...有効時検索の対象に電話番号を含めます。無効時は電話番号は検索の対象に含めません。

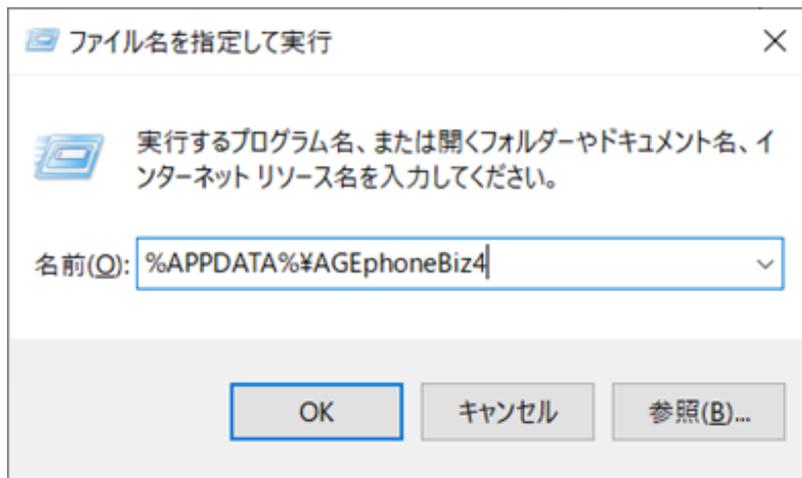
振り仮名...有効時検索の対象に振り仮名を含めます。無効時は振り仮名は検索の対象に含めません。

※検索が利用できなくなるため、一つ以上の項目のチェックが有効である必要があります。

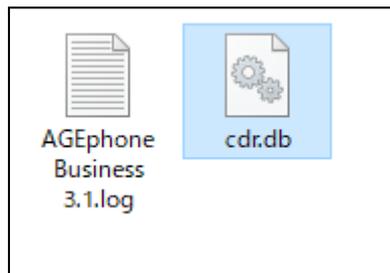
7.10 データ復旧方法

アドレスデータが壊れてしまった場合などは、初期状態に復旧する必要があります。

1. AGEphone Business 4 とアドレス帳を終了してください。
2. キーボードの「Windows」キーを押しながら「R」キーを押下してください。
3. 「ファイル名を指定して実行」で以下の文字列を入力してください。
%APPDATA%\AGEphoneBiz4



4. OKをクリックして以下のファイルがある場所を開きます。



5. cdr.dbというファイルをbackup_cdrというファイル名に変更します。
(ファイルを選んでいる状態でF2キーを押すことでファイル名の変更が行えます。)

8. アドレス帳 (+電話帳)

+電話帳のクラウドサーバを使用し、アドレス帳を一元管理する際は、こちらのアドレス帳を使用します。AGEphone Business 4のアドレス帳機能を使用し連絡先をローカルで管理する操作方法については[7. アドレス帳 \(ローカル\)](#)をご確認ください。

8.1 +電話帳について

+電話帳は法人のお客様向けの有料のクラウドサービスで、アドレス帳を社内でも一元管理することが可能です。

利用をご希望の際は弊社サポート support@ageet.com までお問い合わせください。既にAGEphone Business 4を導入いただいております。+電話帳と組み合わせての利用をご希望の場合は、AGEphone Business 4の販売店様までお問い合わせくださいませ。

8.2 ログイン操作



メニューバーから「アドレス帳>設定」を選択すると設定画面が表示されます。ここで管理者から配布された+電話帳のログイン情報を左図のように入力しOKをクリックします。ログインに成功すると、サーバとの同期処理が実行されます。

8.3 メニューバー

操作(A) 表示(V) アドレス帳(B) 発着信履歴(H) アドレス帳画面のメニューバーから次の操作が可能です。

【アドレス帳表示状態】

■操作

発信... 発信を行う連絡先を選択した状態でクリックすると発信を行います。

※本操作は任意の連絡先の右クリック/ダブルクリック操作からも実行可能です。

終了... アドレス帳を閉じます。

■表示

アドレス帳... 非活性の状態です。

発着信履歴... アドレス帳が表示されている時にクリックすると発着信履歴に表示が切り替わります。

■アドレス帳

+電話帳...

→ フィルター

- ◆ グループでフィルターする...組織でのフィルター表示が有効になっている状態でクリックするとグループでのフィルター表示に切り替わります。
- ◆ 組織でフィルターする...グループでのフィルター表示が有効になっている状態でクリックすると組織でのフィルター表示に切り替わります。

→ 更新...+電話帳サーバとの更新差分を洗い出して部分的な更新を行います。

→ リセット... +電話帳のキャッシュをリセットし、全ての連絡先情報を再度ダウンロードし直します。

追加...+電話帳サーバへ個人連絡先を追加するための連絡先編集画面を開きます。

※本操作は任意の連絡先または空欄エリアの右クリック操作からも実行可能です。

編集...編集権限のある連絡先を選択した状態でクリックすると既存の連絡先を編集するための画面が開きます。編集権限のない連絡先を選択した状態でクリックすると編集画面は開きますがそこから編集操作は行えず非活性の状態となります。

※本操作は任意の連絡先の右クリック操作からも実行可能です。

(右クリック時は権限がある時は編集、権限がない時は表示というメニューが表示されます。)

削除...編集権限のある連絡先を選択した状態でクリックすると連絡先の削除を実行するための確認画面が開きます。編集権限のない連絡先を選択した状態でクリックすると権限の関係で削除の実行が行えないことを通知するエラーメッセージが表示されます。

※本操作は任意の連絡先の右クリック操作からも実行可能です。

インポート...非活性の状態です。

エクスポート...非活性の状態です。

設定...使用するアドレス帳を変更するための設定画面が表示されます。

■発着信履歴

発着信履歴を全て削除...非活性の状態です。

【履歴表示状態】

■操作

発信...発信を行う履歴を選択した状態でクリックすると発信を行います。

※本操作は任意の履歴の右クリック/ダブルクリック操作からも実行可能です。

終了...アドレス帳を閉じます。

■表示

アドレス帳...発着信履歴が表示されている時にクリックするとアドレス帳に表示が切り替わります。

発着信履歴...非活性の状態です。

■アドレス帳

+電話帳...

→ フィルター

- ◆ グループでフィルターする...非活性の状態です。
- ◆ 組織でフィルターする...非活性の状態です。

→ 更新...+電話帳サーバとの更新差分を洗い出して部分的な更新を行います。

→ リセット... +電話帳のキャッシュをリセットし、全ての通話履歴情報を再度ダウンロードし直します。

追加...+電話帳サーバへ個人連絡先を追加するための連絡先編集画面を開きます。

編集...非活性の状態です。

削除...履歴を選択した状態でクリックすると履歴の個別削除を実行するための確認画面が開きます。

※本操作は任意の履歴の右クリック操作からも実行可能です。

インポート...非活性の状態です。

エクスポート...非活性の状態です。
設定...使用するアドレス帳を変更するための設定画面が表示されます。

■発着信履歴

発着信履歴を全て削除...発着信履歴が表示されている状態でクリックすると発着信履歴の全件削除を実行するための確認画面が開きます。この操作を実行すると、+電話帳サーバの通話履歴も全件削除されますのでご注意ください。

※本操作は任意の履歴または空欄エリアの右クリック操作からも実行可能です。

8.4 ツールバー

アドレス帳表示状態



アドレス帳画面のツールバーから次の操作が可能です。

アドレス帳表示切替...アドレス帳が表示されている時に  をクリックすると発着信履歴に表示が切り替わります。

発信...発信を行う連絡先を選択した状態で  をクリックすると発信を行います。

追加...  をクリックすると+電話帳サーバへ個人連絡先を追加するための連絡先編集画面を開きます。

編集...編集権限のある連絡先を選択した状態で  をクリックすると既存の連絡先を編集するための画面が開きます。編集権限のない連絡先を選択した状態でクリックすると編集画面は開きますがそこから編集操作は行えず非活性の状態となります。

削除...編集権限のある連絡先を選択した状態で  をクリックすると連絡先の削除を実行するための確認画面が開きます。編集権限のない連絡先を選択した状態でクリックすると権限の関係で削除の実行が行えないことを通知するエラーメッセージが表示されます。

インポート...  は非活性の状態です。

エクスポート...  は非活性の状態です。

更新...  をクリックすると+電話帳サーバとの更新差分を洗い出して部分的な更新を行います。

設定...  をクリックすると使用するアドレス帳を変更するための設定画面が表示されます。

発着信履歴表示状態



アドレス帳画面のツールバーから次の操作が可能です。

アドレス帳表示切替...発着信履歴が表示されている時に  をクリックするとアドレス帳に表示が切り替わります。

発信...発信を行う履歴を選択した状態で  をクリックすると発信を行います。

追加...  をクリックすると+電話帳サーバへ個人連絡先を追加するための連絡先編集画面を開きます。

編集...  は非活性の状態です。

削除...履歴を選択した状態で  をクリックすると履歴の個別削除を実行するための確認画面が開きます。

インポート...  は非活性の状態です。

エクスポート...  は非活性の状態です。

更新...  をクリックすると+電話帳サーバとの更新差分を洗い出して部分的な更新を行います。

設定...  をクリックすると使用するアドレス帳を変更するための設定画面が表示されます。

8.5 連絡先の追加

連絡先

名前

姓 田

名 信長

姓(ふりがな) おだ

名(ふりがな) のぶなが

連絡情報

電話 075-123-456

携帯電話 070-987-654-321

メール

その他のメール

追加情報

組織 株式会社abc

役職 CEO

部署

住所 京都府向日市磯田町信長番地

市 向日市

都道府県 京都府

郵便番号 317-1234

国 日本

ID

グループ

共有 個人連絡先。読込、書込可能。

データが足りません。

OK キャンセル

アドレス帳画面のメニューバーから「アドレス帳>追加」を選択すると+電話帳サーバへ個人連絡先を追加するための編集画面が開きます。

ここで必要な情報を入力しOKをクリックすると個人の連絡先が新規登録されます。

※組織全体が閲覧可能な連絡先や、グループ単位で閲覧可能な連絡先の登録は、AGEphone Business 4からではなくWebブラウザから行っていただく必要があります。詳しくは別紙：AGEphoneCRM server Manual（テナントマニュアル）をご確認ください。

8.6 連絡先の編集

連絡先

名前

姓 磯田

名 信長

姓(ふりがな) おだ

名(ふりがな) のぶなが

連絡情報

電話 075-123-456

携帯電話 070-987-654-321

メール

その他のメール

追加情報

組織 株式会社abc

役職 CEO

部署

住所 京都府向日市磯田町信長番地

市 向日市

都道府県 京都府

郵便番号 317-1234

国 日本

ID

グループ

共有 個人連絡先。読込、書込可能。

データが足りません。

OK キャンセル

編集権限のある連絡先を選択した状態でメニューバーから「アドレス帳>編集」を選択すると連絡先を編集するための編集画面が開きます。

ここで必要な情報を入力しOKをクリックすると連絡先が更新されます。
※編集権限のない連絡先を選択した状態でクリックすると編集画面は開きますがそこから編集操作は行えず非活性の状態となります。

8.7 フィルター表示

アドレス帳表示状態

フィルター	項目
全部	33
QA	1
hello3	3
株式会社ageet	3

連絡先の追加時にグループの登録があると、その名前からフィルターが自動生成されます。
全部...全ての連絡先を表示します。
任意のグループ...各グループに振り分けされた連絡先をグループ毎に表示します。

なおフィルター内で、右クリックを行うと次のメニューが表示されます。

グループでフィルターする...グループの登録があると、そのグループ名でフィルター表示を行います。

組織でフィルターする...会社名等の組織の登録があると、その組織名でフィルター表示を行います。

空のフィルターを表示する...こちらを有効にしておくで、検索バーで連絡先を検索した際に検索結果が該当しない空のフィルターもフィルター表示されます。無効の場合は、該当する検索結果が存在しないフィルターは非表示の状態となります。

発着信履歴表示状態

フィルター	項目
全部	60
着信	10
発信	25
不在着信	13
発信不在	12

履歴のフィルターは下記の内容でフィルターされます。

全部...全ての履歴を表示します。

着信...着信し通話が接続された履歴を表示します。

発信...発信し通話が接続された履歴を表示します。

不在着信...着信し通話が接続されなかった履歴を表示します。

発信不在...発信し通話が接続されなかった履歴を表示します。

8.8 表示データのソート

メインディスプレイの上部に設けられたソートフィルターをクリックすると昇順降順で表示データをソートし直すことができます。

アドレス帳表示状態

種類	名前	振り仮名	電話番号
----	----	------	------

種類...連絡先の種類順でソートします。

- 降順...IP電話> 一般電話> 携帯電話> ビジネス
- 昇順...ビジネス> 携帯電話> 一般電話> IP電話

名前...名前順でソートします。

- 降順... A-Z> a-z> あ-ん> 漢字
- 昇順...漢字> ん-あ> z-a> Z-A

振り仮名...振り仮名順でソートします。

- 降順... 空白> あ-ん> アン
- 昇順... ん-あ> ン-ア> 空白

電話番号...電話番号でソートします。

→ 降順...9から0

→ 昇順...0から9

発着信履歴表示状態

種類	名前	日付
----	----	----

種類.....連絡先の種類順でソートします。

→ 降順...発信>発信不在>着信>不在着信

→ 昇順...不在着信>着信>発信不在>発信

名前・電話番号...電話番号順でソートします。

→ 降順...9から0

→ 昇順...0から9

日付..日付を昇順降順でソートします。

→ 昇順...新しい日付から古い日付

→ 降順...古い日付から新しい日付

8.9 検索

アドレス帳表示状態・発着信履歴表示状態共通

検索バーにてキーワードを入力すると、その入力値を用いて検索が実行されます。

検索:	<input type="text" value="おだ"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 名前	<input checked="" type="checkbox"/> 電話番号	<input checked="" type="checkbox"/> 振り仮名
-----	---------------------------------	--	--	--

検索バーで使用可能な検索値は漢字・ひらがな・アルファベット・数字・記号となります。

また、アドレス帳表示状態では、バー右部に設けられた下記のフィルターのチェックを有効・無効にすることにより更に絞った検索が可能になります。発着信履歴表示状態では、名前と電話番号どちらかでの検索となります。

名前...有効時検索の対象に名前を含めます。無効時は名前は検索の対象に含めません。

電話番号...有効時検索の対象に電話番号を含めます。無効時は電話番号は検索の対象に含めません。

振り仮名...有効時検索の対象に振り仮名を含めます。無効時は振り仮名は検索の対象に含めません。

※検索が利用できなくなるため、一つ以上の項目のチェックが有効である必要があります。

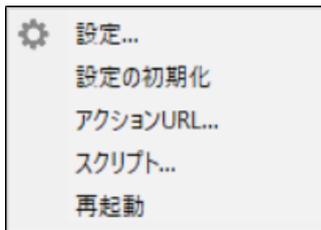
9. その他

9.1 制限事項

Windows 7 / 8.1の動作については動作保証を行うことはできませんが、弊社環境においては動作を確認しております。

9.2 AGEphone Business 4の利用停止方法

AGEphone Business 4のポップアップメニューから「ツール> 設定の初期化」を実施していただくことで設定情報と同時にライセンスキーの情報を削除する事が可能です。

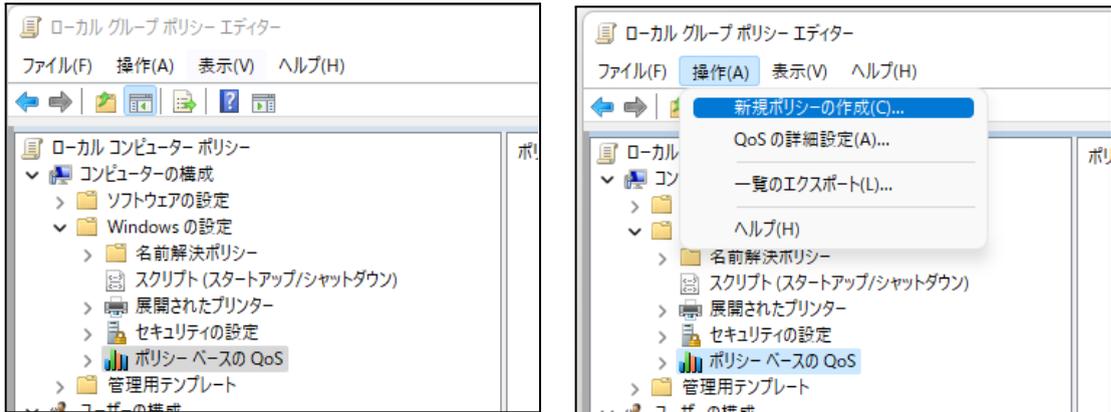


AGEphone Business 4の利用を停止されたい場合は、こちらの操作を行ってからアンインストールを実施していただきますようお願いいたします。

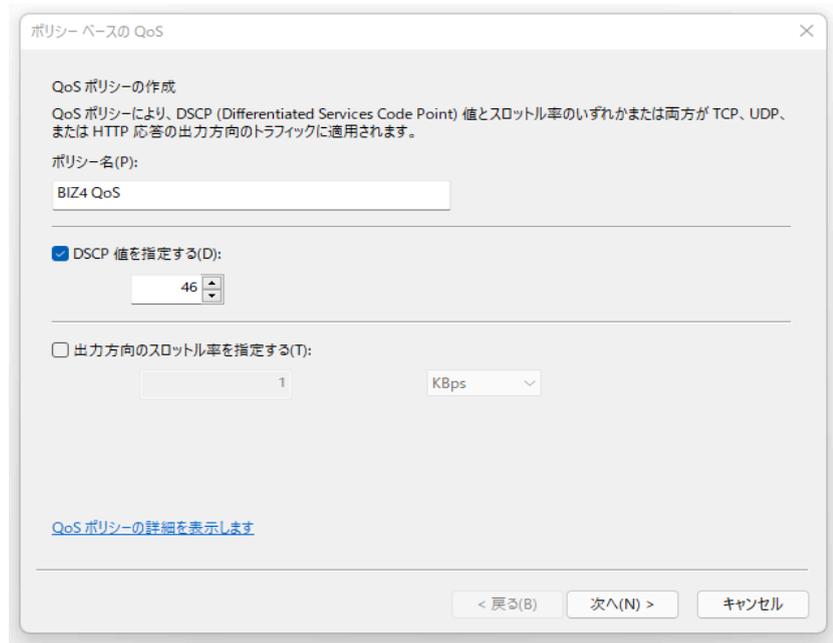
9.3 QoS設定

QoS設定が必要な場合はWindowsにて以下の手順に沿って設定してください。

1. 「gpedit.msc」を起動します。
2. 「コンピューターの構成」→「Windowsの設定」→「ポリシーベースのQoS」をクリックしメニューの操作タブで「新規ポリシーの作成」を選択します。



3. 任意のポリシー名とDSCP値を入力し「次へ」をクリックします。



4. すべてのアプリケーション、またはアプリケーション名を指定して「次へ」をクリックします。
(例) C:\Program Files (x86) \AGEphoneBiz4.exe

ポリシー ベースの QoS

この QoS ポリシーの適用対象:

すべてのアプリケーション(A)

次の実行可能ファイル名を持つアプリケーションのみ(O):

例: application.exe、または %ProgramFiles%\application.exe

次の URL に対する要求に応答する HTTP サーバー アプリケーションのみ(H):

サブディレクトリやファイルを含める(I)

例: http://myhost/training/ または https://*/training/
標準以外の TCP ポートの例: http://myhost:8080/training/ または https://myhost*/training/

[QoS ポリシーの詳細を表示します](#)

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

5. 送信元または宛先のIPアドレスを入力し「次へ」をクリックします。
送信パケットの宛先を限定してDSCP値を指定する場合は[次の宛先IPアドレスまたはプレフィックスのみ]を指定してください。

ポリシー ベースの QoS

発信元と宛先の IP アドレスを指定してください。

QoS ポリシーは、発信元または宛先の IP (IPv4 または IPv6) アドレスまたはプレフィックスからの出力方向のトラフィックに適用できます。HTTP 応答トラフィックでは、宛先の IP アドレスまたはプレフィックスは HTTP 要求を発行したクライアントを示します。

この QoS ポリシーの適用対象:

すべての発信元 IP アドレス(A)

次の発信元 IP アドレスのみ(O):

この QoS ポリシーの適用対象:

すべての宛先 IP アドレス(N)

次の宛先 IP アドレスまたはプレフィックスのみ(Y):

ホスト アドレスの例: 1.2.3.4 または 3ffe:ffff:1
アドレス プレフィックスの例: 192.168.1.0/24 または fe80::1234/48

[QoS ポリシーの詳細を表示します](#)

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

6. SIPとRTPともにDSCP値を指定する場合はプロトコルを[TCPとUDP]、DSCP値を変更するパケットの宛先ポートを限定する場合は[次の宛先ポート番号か範囲]を選択し、ポートの例、ポート範囲の例に従い入力し「完了」をクリックします。

ポリシーベースのQoS

プロトコルとポート番号を指定してください。
QoSポリシーは、特定のプロトコル、発信元ポート番号または範囲、宛先ポート番号または範囲を使用する出力方向のトラフィックに適用できます。

このQoSポリシーを適用するプロトコルを選択してください(S):

TCP

発信元ポート番号を指定してください:

任意の発信元ポート(F)

次の発信元ポート番号か範囲(R):

宛先ポート番号を指定してください:

任意の宛先ポート(T)

次の宛先ポート番号か範囲(O):

ポートの例: 443
ポート範囲の例: 137:139

[QoSポリシーの詳細を表示します](#)

< 戻る(B) 完了 キャンセル

Windows11をご使用の場合、上記の設定に加え、下記の設定を行ってください。

- レジストリエディタを開き下記のパスの設定値を確認します。
「コンピューター\HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Services\Tcpip\QoS」 [QoS]というレジストリキーがない場合は、 [Tcpip]を右クリックし、[新規] をポイントして、[キー]をクリックし、作成されたキーに「QoS」と入力します。
- [QoS] を右クリックし、[新規] をポイントして、[文字列値] をクリックします。
- 作成された値に「Do not use NLA」と入力し、値の名前を変更します。
- [Do no use NLA] をダブルクリックします。[文字列の編集] ダイアログボックスで、[値のデータ] ボックスに「1」と入力後、[OK] をクリックし、PCを再起動してください。

10. お問い合わせ先

株式会社ageet（アギート）のサポートセンター <https://www.ageet.com/contact> までお願いいたします。お電話でのサポートは受け付けておりませんので予めご了承くださいませ。
また、動作報告など情報を募集しております。他にもこのような使い方があるなど、便利な情報をお寄せください。ブログなどでの紹介も大歓迎です。



開発元：株式会社 ageet（アギート）
〒617-0002 京都府向日市寺戸町修理式13-98